

埼玉県中体連剣道専門部専門委員長会議

日時 令和7年5月13日(火) 9時30分～
場所 スポーツ総合センター 講堂
司会 副委員長 七条 剣

1 部長挨拶

2 委員長挨拶

3 議 事

(1) 本年度の方針・計画案について

①総務部 佐竹（草加新田）

②競技部 五十嵐（朝霞第二）

③審判部 三摩（朝霞第一）

④会計部 高野（城北）

⑤記録報道部 高信（大砂土）

⑥強化対策委員会から 松田（大沼）

(2) 質疑

4 その他

◎県代表者会議の日程 7月8日(火) ※時間 10:30～

→会議内容の周知をお願いします。

※資料はHPよりダウンロードして各出場校が持参してください。

※参加費（一人500円）を代表者会議で集金します。

◎学総県大会は所沢市民体育館で実施します。当日の朝準備のご協力よろしくお願いします。

※7月31日(木) 男女団体戦、8月1日(金) 男女個人戦です。

埼玉県中学校体育連盟剣道専門部規約

第 1 章 名称及び事務局

第 1 条（名称） 埼玉県中学校体育連盟剣道専門部と称する。

第 2 条（所在地） この団体を次の場所に置く。

〒330-0062

埼玉県さいたま市浦和区仲町 3 丁目 5－1

埼玉県中学校体育連盟事務局

第 2 章 目的及び事業

第 3 条（目的） 本会は埼玉県における中学校体育を振興し体力の向上を図り、スポーツ精神を涵養することを目的とする。

第 4 条（事業） 本連盟は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 剣道に関する理論及び実技の研究
- 2 生徒の技能向上のための諸般の研究調査
- 3 大会や強化錬成会の開催
- 4 その他本会の目的達成のための必要な事項

第 3 章 組織

第 5 条（組織）

1. 構 成 員 埼玉県内の中学校剣道部顧問によって組織する。

2. 役 員 専門部に次の役員を置く。

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1 専門部長 | 1 名 |
| 2 専門委員長 | 1 名 |
| 3 副専門委員長 | 若干名 |
| 4 地区理事 | 5 名（東西南北・さいたま市） |
| 5 部長 | 5 名（総務、会計、記録報道、競技、審判） |
| 6 強化対策委員会 | 1 名（事務局長） |
| 7 常任委員 | 20 名程度（1～6＋総務副部長 2 名＋相談役） |

3. 組 織 各部の組織と業務は次の通りとする。
- (1) 総 務 部 各部の調整（庶務・申込等）
 - (2) 会 計 部 専門部の会計に関する事
 - (3) 記録報道部 HP 管理・更新等に関する事
 - (4) 競 技 部 大会運営に関する事
 - (5) 審 判 部 審判等に関する事
 - (6) 強化対策委員会 強化に関する事
4. 会 議 専門部に次の会議を置く。
- (1) 常任委員会 役員改選案・行事計画案・大会要項・運営要項・規約改正
 - (2) 代表者会議 大会申し合わせ事項・大会組合せ（県大出場校顧問）
 - (3) 専門委員長会議 役員承認・行事計画・その他（各地区専門委員長）
5. 役員の選出 (1) 専門委員長及び副専門委員長は、専門委員長会議で選出し決定する。
専門委員長は、常任委員及び各地区専門委員長より選出する。
各地区理事は東西南北・さいたま市より選出する。
強化・課題担当副専門委員長は必要に応じて、専門委員長が任命する。
(2) 各部部長及び部員は常任委員会より候補を選出し、専門委員長会議で承認を得る。
6. 役員の任期 役員の任期は2ヶ年とし、再任は妨げない。（原則として2期までとする）
7. 設立年月日 昭和23年4月1日

以上の規約は、埼玉県中学校体育連盟規約・種目別専門部規定を基準として
平成16年5月3日より施行する。

平成20年4月一部改正

平成27年4月一部改正

平成30年4月一部改正

令和4年4月一部改正

令和5年4月一部改正

令和7年4月一部改正

令和7年度 埼玉県中体連剣道専門部役員

順不同 敬称略

専門部長 門井 五雄（羽生西）
相談役 三浦 達也（東松山南）中村 孝（秩父第二）

専門委員長 上野 慶一郎（安行）
副専門委員長 七条 剣（朝霞第三）上野 哲平（吉川南）渡辺 正浩（大宮西）

地区理事 東部地区 平井 武蔵（吉川中央） 西部地区 福田 訓昌（滑川）
南部地区 荒井 馨梨（新座第二） 北部地区 岩田 健太郎（妻沼東）
さいたま市 内田 峻介（三室）

強化対策委員会（16名）

委員長 兼 事務局長：松田 昂也（大沼）

委員：平井武蔵（吉川中央）埜口志穂（鷲宮）土田翔平（越谷北）山崎夏樹（霞ヶ関西）猿橋陽介（若宮）
貝塚修悟（城北埼玉）中川勇作（川口南）荒井馨梨（新座第二）金室あかね（三尻）黒澤大輔（幡羅）千島京香（別府）
中川雄斗（原山）内田峻介（三室）大橋基（美園南）茅野真由（川通）

総務部（13名）

部長：佐竹 士（草加新田） 副部長：金室 あかね（三尻）増田 篤寛（大谷）

横井 隆広（新座第二）山崎 夏樹（霞ヶ関西）磯山 大樹（越谷東）茅野 真由（川通）

1年生大会担当：峯 知恵（百間）工藤 康平（霞ヶ関西）神崎 土龍（朝霞第一）小田 直城（藤沢）西村 柁哉（日進）

県大会プログラム担当：増田 篤寛（大谷）内田 峻介（指扇）茅野 真由（川通）

会計部（6名）

部長：高野 隼（城北） 副部長：神崎土龍（朝霞第一）

東：寺田優子（菖蒲）西：中井愛（所沢東）南：神崎土龍（朝霞第一）北：関野幸之介（岡部）さ：石井怜（植竹）

記録報道部（3名）

部長：高信 徹寛（大砂土） 副部長：土田 洸太郎（草加新田）

白井 悠翔（瀬崎）

競技部（18名）

部長：五十嵐 有輔（朝霞第二） 副部長：千代田 康仁（加須昭和）保志 浩之（久喜）

山中 弘樹（羽生南）吉澤 千尋（越谷西）寺田 優子（菖蒲）伊川 諒（杉戸）大貫 幸江（大利根）

八重田 心（八潮大原）原中 賢二（坂戸）渡辺 章吾（両新田）長 聡史（川柳）小川 優太（青柳）

山崎 峻（上尾西）本橋 大輔（川口東）千葉 愛永（羽生東）石塚 悠介（菖蒲）

式典担当：菅野 裕磨（浦和）在間 拓幹（さいたま大原）

審判部（13名）

部長：三摩 和博（朝霞第一） 副部長：古屋 一樹（小川東）星川 隼人（幸並）

平井 武蔵（吉川中央）土田 翔平（越谷北）福田 訓昌（滑川）翠川 洋平（川口北）中川 勇作（川口南）

町田 竜志（秩父第一）千島 京香（別府）木野内 悠介（鴻巣北）福井 康太（皆野）山本 芳樹（大谷場）

学校剣道連盟事務局（2名） 翠川 洋平（川口北） 白石 剣（美園南）

地域移行担当（2名）上野 哲平（吉川南）中村 孝（秩父第二）

令和 7 年度 埼玉県中体連剣道専門部行事予定

月	曜日	行 事 名	会場及び使用する場所	開始時刻
4	1 2 (土)	審判講習会	スポーツ総合センター アリーナ、体育実習室	9 : 0 0
	1 9 (土)	埼玉県中学生剣道交流大会	毎日興業アリーナ久喜	9 : 0 0
5	2 (金)	埼玉県中学生春季特別剣道大会前日準備	行田グリーンアリーナ	1 9 : 0 0
	3 (土)	埼玉県中学生春季特別剣道交流大会	〃 (強化対策委員会担当)	8 : 3 0
	4 (日)	〃	〃	8 : 3 0
	1 3 (火)	専門委員長会議	スポーツ総合センター 講堂	9 : 0 0
6	7 (土)	埼玉県中学生剣道交流大会	サイデン化学アリーナ	9 : 0 0
7	8 (火)	代表者会議	スポーツ総合センター (予定)	1 0 : 3 0
	〃	強化部会	スポーツ総合センター (予定)	1 3 : 0 0
	3 1 (木) 団体	第 7 3 回学校総合体育大会	所沢市民体育館	8 : 0 0
8	1 (金) 個人	第 7 3 回学校総合体育大会	所沢市民体育館	8 : 0 0
	6 (水)	中高連携全国関東強化錬成会	県立武道館：主道場、第 2 道場、第 1・2 会議室	8 : 0 0
	8 (金)	第 5 2 回関東中学校剣道大会	東京都 エスフォルタアリーナ八王子	
	9 (土)	ジュニア強化合宿	県立武道館：第 2 道場	8 : 0 0
	1 3 (水)	〃	宿泊：スポーツ総合センター	
	1 4 (木)	第 5 5 回全国中学校剣道大会	宮崎県都城市	
	2 3 (土) ~ 2 5 (月)	〃	早水公園体育文化センター	
9	1 4 (日)	第 20 回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市・おおきにアリーナ舞洲	
	2 3 (火)	埼玉県中学生剣道交流大会	くまがやドーム内体育館	7 : 0 0
1 0	1 4 (火)	代表者会議	県立武道館 第 2 道場	1 0 : 3 0
	〃	強化部会	〃	1 3 : 0 0
	1 8 (土)	埼玉県中学生秋季特別剣道交流大会	大宮武道館	8 : 0 0
1 1	1 2 (水) 団体	第 6 4 回新人体育大会 兼第 3 9 回県民総合スポーツ大会	県立武道館：主道場、第 1・第 2 会議室、第 1 道場、第 2 道場	8 : 0 0
	1 3 (木) 個人	第 4 8 回埼玉県剣道大会 (中学の部)		8 : 0 0
	2 9 (土)	学校剣道連盟指導者講習会	県立武道館	1 3 : 0 0
	3 0 (日)	西部地区 1 年生大会	三芳町総合体育館	8 : 0 0
1 2	5 (金)	第 1 回常任委員会	県立武道館：第 1・2 会議室	1 4 : 0 0
	1 3 (土)	東部地区 1 年生大会	レジデンシャルパーク SHOWA (庄和体育館)	8 : 0 0
	2 8 (日)	埼玉県中学生冬季特別剣道交流大会	県立武道館：主道場	8 : 0 0

1	1 0 (土)	北部地区 1 年生大会	熊谷市民体育館	9 : 0 0
	1 1 (日)	埼玉県中学生剣道交流大会	吉川市総合体育館	8 : 3 0
	3 1 (土)	強化訓練(埼剣連事業)	県立武道館 事務局長選出	9 : 0 0
	3 1 (土)	南部地区 1 年生大会	戸田スポーツセンター	9 : 0 0
2	()	中高連携強化事業	会場未定	8 : 0 0
	1 3 (金)	第 2 回常任委員会	県立武道館：第 1 ・ 2 会議室	1 4 : 0 0
	1 4 (土)	さいたま市 1 年生大会	サイデン化学アリーナ	9 : 0 0
	2 8 (土)	埼玉県中学生剣道交流大会	狭山市民総合体育館	8 : 3 0
3	2 8 (土)	埼玉県中学生剣道交流大会	県立武道館：主道場、第 2 道場、 第 1 ・ 2 会議室	9 : 0 0

※合宿等の宿泊場所は県立スポーツ総合センターとする。申し込み予約は中体連事務局に依頼する。

※合宿宿泊人数について（スポーツ総合センター宿泊施設） 8 月に 1 泊 2 日

8 月 指導者（教職員） 1 0 名程度 生徒 3 0 名（男子 1 5 名、女子 1 5 名） 合計 4 0 名

※中高強化 2 月 指導者（教職員） 7 名 生徒 2 8 名（男子 1 4 名、女子 1 4 名）合計 3 5 名

※施設利用上の注意点

- 1 県立武道館使用の場合、駐車場については水上公園の駐車場を利用する。バスについては乗用車の邪魔にならないようにこちらの指示に従って停めさせる。
- 2 学総体は男女、学年規制を設ける。
(団体戦は男女で規制を設ける。※男子のみしか出場しない学校について、女子は連れてこない。
個人戦について、1 年生は選手のための参加とする。役員等は除く。)

全日本剣道道場連盟主催大会

第 6 0 回全国道場少年剣道大会 令和 7 年 7 月 3 0 日（水）

埼玉県剣道道場連盟主催大会

第 5 3 回埼玉県道場少年剣道大会 令和 7 年 5 月 1 7 日（土）

第 2 1 回埼玉県道場小中学校剣道選手権大会 令和 7 年 6 月 2 9 日（日）

令和7年度 各地区専門委員長及び剣道競技の出場定数について

1 県大会出場定数の地区配当については地区ごとに定めてある。

(1) 学校総合体育大会(男 女 共 通)

※新人戦でベスト4に入った地区は枠が与えられる

※新人戦でベスト4に入った地区は枠が与えられる									新人ベスト4	
地区			代表者	詳細地区	代表者	団体戦	個人戦	備考	男子	女子
東	北埼玉	2	千代田康仁(昭和)	加須市	千代田康仁(昭和)	2	8	団体戦出場校×4 個人戦出場数		
				羽生市	山中弘樹(羽生南)					
				行田市	飯塚崇晃(忍)					
	埼葛	7	布施拓也(春日部東)	越谷市・八潮市	土田翔平(越谷北)八重田心(大原)	2	8			
				久喜・幸手	埜口志穂(鷲宮)	1.25	5			
				春日部市	布施拓也(春日部東)	1.25	5		+1	+1
				三郷市・吉川市・松伏町	平井武蔵(吉川中央)	1.25	5			
				四地区(白岡・杉戸・宮代・蓮田)	伊川諒(杉戸)	1.25	5			
西	入間	11	安部徳晃(川越東)	所沢市	大橋拓真(所沢北野)	2	8			
				狭山市	星野恵介(狭山中央)	1	4			
				川越市	門間 愛(大東)	3	12		+1	
				入間東部	田山のどか(三芳)	1	4			
				入間西部	小柳渉(飯能西)	1	4			
				入間市	河田寛世(東金子)	1	4			
				入間北部	国師大智(住吉)	2	8			
	比企	2	福田訓昌(滑川)	比企	福田訓昌(滑川)	2	8			
				東松山市	小松里香(東松山北)					
南	川口	3	翠川洋平(川口北)	川口市	翠川洋平(川口北)	3	12			
	朝霞	2	安田武史(新座)	朝霞市	神崎士龍(朝霞第一)	2	8	+1	+1	
				志木市	塚崎瑞起(志木第二)					
				和光市	島崎仁志(和光第二)					
				新座市	安田武史(新座)					
	県南	3	長聡史(川柳)	戸田市	遠藤啓太(戸田東)	3	12			
				蕨市	栃本宜寿(蕨第二)					
草加市				長聡史(川柳)						
北	北足立北部	1	石渡遼(上尾東)	上尾市	石渡遼(上尾東)	1	4			
		2	大野久生(鴻巣北)	桶川市	富永晋也(桶川東)	2	8	+1		
				北本市	北本美沙子(北本)					
				鴻巣市	大野久生(鴻巣北)					
				伊奈町	黒岩慶圭(伊奈南)					
	秩父	1.5	町田竜志(秩父第一)	秩父市	町田竜志(秩父第一)	3	6			
				秩父郡	福井康太(皆野)					
	児玉	1.5	宮関俊光(本庄南)	本庄市・児玉郡	宮関俊光(本庄南)		6		+1	
	大里	3	黒澤大輔(幡羅)	熊谷市	岩田健太郎(妻沼東)	3	6	+1		
				深谷市	小田直城(藤沢)		6		+1	
				寄居町	大澤尚子(城南)					
さいたま市		8	内田峻介(三室)	さいたま市	渡邊正浩(大宮西)	8	32		+1	
地域スポーツ団体		1	中村孝(秩父第二)上野哲平(吉川南)			1	4			
合計		48				48(+4)	192		+4	+4

地域スポーツ団体の参加がなかった場合

団体戦…令和6年度新人戦優勝校に負けたベスト8のチームが属する予選母体の出場枠を増やす。(令和7年度該当校 男子:新座第二中学校、女子:さいたま原山中学校)

個人戦…令和6年度新人戦入賞者の予選母体に出場枠を配分する。

令和7年度該当 男子①川口 女子①春日部 ②北埼玉 ③北本 ④春日部

令和7年度 各地区専門委員長及び剣道競技の出場定数について

1 県大会出場定数の地区配当については地区ごとに定めてある。

(1) 新人体育大会(男 女 共 通)

※学総大会の結果からの出場枠の増加はなし。

※学総大会の結果からの出場枠の増加はなし。									学総ベスト4	
地区			代表者	詳細地区	代表者	団体戦	個人戦	備考	男子	女子
東	北埼	2	千代田康仁(昭和)	加須市	千代田康仁(昭和)	2	8	団体戦 出場校×4 個人戦 出場数		
				羽生市	山中弘樹(羽生南)					
				行田市	飯塚崇晃(忍)					
	埼葛	7	布施拓也(春日部東)	越谷市・八潮市	土田翔平(越谷北)八重田心(大原)	2	8			
				久喜・幸手	埜口志穂(鷺宮)	1.25	5			
				春日部市	布施拓也(春日部東)	1.25	5			
				三郷市・吉川市・松伏町	平井武蔵(吉川中央)	1.25	5			
四地区(白岡・杉戸・宮代・蓮田)				伊川諒(杉戸)	1.25	5				
西	入間	11	安部徳晃(川越東)	所沢市	大橋拓真(所沢北野)	2	8			
				狭山市	星野恵介(狭山中央)	1	4			
				川越市	門間 愛(大東)	3	12			
				入間東部	田山のどか(三芳)	1	4			
				入間西部	小柳渉(飯能西)	1	4			
				入間市	河田寛世(東金子)	1	4			
				入間北部	図師大智(住吉)	2	8			
	比企	2	福田訓昌(滑川)	比企	福田訓昌(滑川)	2	8			
				東松山市	小松里香(東松山北)					
南	川口	3	翠川洋平(川口北)	川口市	翠川洋平(川口北)	3	12			
	朝霞	2	安田武史(新座)	朝霞市	神崎士龍(朝霞第一)	2	8			
				志木市	塚崎瑞起(志木第二)					
				和光市	島崎仁志(和光第二)					
				新座市	安田武史(新座)					
	県南	3	長聡史(川柳)	戸田市	遠藤啓太(戸田東)	3	12			
				蕨市	栃本宜寿(蕨第二)					
				草加市	長聡史(川柳)					
北	北足立北部	1	石渡遼(上尾東)	上尾市	石渡遼(上尾東)	1	4			
		2	大野久生(鴻巣北)	桶川市	富永晋也(桶川東)	2	8			
				北本市	北本美沙子(北本)					
				鴻巣市	大野久生(鴻巣北)					
				伊奈町	黒岩慶圭(伊奈南)					
	秩父	1.5	町田竜志(秩父第一)	秩父市	町田竜志(秩父第一)	3	6			
				秩父郡	福井康太(皆野)					
	児玉	1.5	宮関俊光(本庄南)	本庄市・児玉郡	宮関俊光(本庄南)		6			
	大里	3	黒澤大輔(幡羅)	熊谷市	岩田健太郎(妻沼東)	3	6			
				深谷市	小田直城(藤沢)		6			
				寄居町	大澤尚子(城南)					
さいたま市		8	内田峻介(三室)	さいたま市	渡邊正浩(大宮西)	8	32			
地域スポーツ団体		1	中村孝(秩父第二)上野哲平(吉川南)			1	4			
合計		48				48	192			

地域スポーツ団体の参加がなかった場合

団体戦…学総体優勝校が属する予選母体の出場枠を増やす。

個人戦…学総体入賞者の予選母体に出場枠を配分する。

中体連剣道専門部 部員数調査について

埼玉県中学校体育連盟剣道専門部
委員長 上野 慶一郎

令和 7 年度の埼玉県内の顧問の先生、外部指導者及び生徒数の調査を行います。目的、方法は以下の通りですので、ご協力よろしくお願いします。なお、剣道部が設置されている全ての中学校が対象となりますので、期日を守り、手順に沿って入力をお願いします。

1 使用目的

①専門部内の組織作りへの活用 ②各種大会への組織作りへの活用 ③各調査への対応資料

2 調査内容

(1) 顧問に関すること

①顧問氏名 ②教科 ③称号・段位 ④年齢（差し支えなければご記入下さい。）

(2) 生徒に関すること

①学年別男女別部員数

②卒業後の剣道部加入数（継続率の調査に活用をさせていただきます。）

(3) 外部指導者・運動部活動指導員に関すること（校長・市町村教育委員会が正式に認めている指導者）

①外部指導者氏名 ②称号・段位 ③剣道社会体育指導員（資格を有しているか）

3 調査方法及び期間について

手順	日時	内容
1	5 月 1 3 日（火）	専門委員長会議で資料配布及び資料説明
2	5 月 1 3 日（火）～ 5 月 1 6 日（金）	専門委員長は地区の学校（剣道部設置校）に（様式 1）を配布する。
3	～ 5 月 2 3 日（金）	各校顧問は（様式 1）を確認後、QR コードを読み取り、form を答える。
4	～ 6 月 6 日（金）	各地区理事で確認 ※未記入等がある場合には、下記に記載されている地区理事から連絡をさせていただきますので、その際はご協力ください。

○ 担当地区理事

東部 平井武蔵	吉川中央中学校 TEL 048-982-0241	南部 荒井馨梨	新座第二中学校 TEL 048-477-1212
西部 福田訓昌	滑川中学校 TEL 0493-56-2239	北部 岩田健太郎	妻沼東中学校 TEL 048-588-1352
さいたま市 内田峻介	三室中学校 TEL 048-874-2331		

* 問い合わせ先：総務部長 草加市立新田中学校 佐竹 士 TEL 048-942-9872

こちらの QR コードを読み取り、アンケートにお答えください。

URL : <https://forms.gle/zkG5N9SGZ8HG57Wz5>



令和7年度 埼玉県中学校1年生剣道大会の実施について

埼玉県中学校体育連盟剣道専門部
委員長 上野 慶一郎

- 1 目的 剣道競技の更なる発展と剣道継続率の向上
- 2 主催 埼玉県中学校体育連盟剣道専門部
- 3 主管 各地区中学校体育連盟剣道専門部
- 4 会場・期日 東部 令和7年12月13日（土）レジデンシャルパーク SHOWA（庄和体育館）
西部 令和7年11月30日（日）三芳町総合体育館
南部 令和8年1月31日（土）戸田スポーツセンター
北部 令和8年1月10日（土）熊谷市民体育館
さいたま市 令和8年2月14日（土）サイデン化学アリーナ
- 5 内容 部門別の個人戦
①1年生初心者の部（中学校から剣道を始めた生徒、同時期に道場やクラブに加入した生徒）
②1年生経験者の部（小学生の頃から道場やクラブで期間を問わず剣道の経験がある生徒）
- 6 申込 地区ごとに大会前に連絡があります。多くの学校の参加協力をお願いします。
各地区の担当者

東部 宮代市立百間中学校 峯 知恵

西部 川越市立霞ヶ関西中学校 工藤 康平

南部 朝霞市立朝霞第一中学校 神崎 土龍

北部 深谷市立藤沢中学校 小田 直城

さいたま市 さいたま市立日進中学校 西村 柁哉
- 7 参加費 申し込み人数×300円を受付にて徴収させていただきます。
- 8 諸注意
 - ・各担当から会場使用上の注意等はあらためて連絡されます。指示にしたがっていただき、スムーズな大会運営にご協力をよろしくお願いいたします。

中体連剣道専門部 Tシャツ (2025) 申込書

学校名 _____ 生徒氏名 _____ 保護者名 _____ 印 _____

Tシャツ	S	M	L	LL	3L	合計
① ホワイト 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
② ブラック 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
② ネイビー 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
③ ブルー 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
④ レッド 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
合 計	Tシャツ 枚 x ￥2200 = ￥					

* 代金を添えてお申し込みください。

中体連剣道専門部ポロシャツ（2025）申込書

学校名 _____ 生徒氏名 _____ 保護者名 _____ 印 _____

Tシャツ	S	M	L	LL	3L	合 計
① ホワイト 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
② ブラック 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
③ ネイビー 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
③ ブルー 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
④ レッド 	枚	枚	枚	枚	枚	枚
合 計	ポロシャツ 枚 x ￥3300 = ￥					

* 代金を添えてお申し込みください。

FAX 送信書

FAX 0480-52-0902

(株)コヤナギスポーツ 宛

申込日 令和 年 月 日

埼玉県中体連剣道専門部 Tシャツ申込書

連絡先	学 校 名	中学校	
	学 校 住 所	〒	
	TEL/FAX	TEL	FAX
	顧 問 名		
	連絡先(携帯)		

T シ ャ ツ		S	M	L	LL	3L	合計数
	白						
	ブラック						
	ネイビー						
	ブルー						
	レッド						
合 計	枚 x 2200 円		合 計 金 額		円		

ポ ロ シ ャ ツ		S	M	L	LL	3L	合計数
	白						
	ブラック						
	ネイビー						
	ブルー						
	レッド						
合 計	枚 x 3300 円		合 計 金 額		円		

取 扱 店

(株)コヤナギスポーツ

〒349-1102 久喜市栗橋中央 1-19-21

TEL 0480-52-0151 FAX 0480-52-0902

info@koyanagi-sp.jp

学校総合体育大会兼関東・全国予選会実施要項

1. 日 時 男女団体戦 令和7年7月31日(木) 8試合場

◇日程

会場役員 集合・入館 8:00
選手入場、受付(顧問・審判員)、検定開始 8:30~
選手準備運動・審判会議・受付終了予定 ~9:40
開会式 9:50
試合 女子ベスト8 (20分×6試合=120分)
男子ベスト8 (20分×6試合=120分)
男女準々決勝 (8試合場一斉 準備でき次第 25分)
男女関東大会出場決定戦 (4試合場一斉 開始アナウンス有 25分)
男女準決勝 (4試合場一斉 紹介アナウンス有 25分)
男女決勝 (2試合場一斉 紹介アナウンス有 25分)
閉会式 予定 16:00
退館 16:30

男女個人戦 令和7年8月1日(金) 8試合場

◇日程

会場役員 集合・入館 8:00
選手入場、受付(顧問・審判員)、検定開始 8:30~
選手準備運動・審判会議・受付終了予定 ~9:40
開会式 9:50
試合 女子ベスト32 (5分×20試合=100分)
男子ベスト32 (5分×20試合=100分)
男女ベスト8 (5分×6試合=30分)
男女準々決勝 (8試合場 準備でき次第 開始アナウンスなし 5分)
男女準決勝 (4試合場一斉 紹介アナウンス有 5分)
男女順位決定戦 (4試合場一斉 準備でき次第 開始アナウンスあり 5分)
男女決勝 (2試合場一斉 紹介アナウンス有 5分)
閉会式 予定 15:00
退館 15:30

2. 主 催 埼玉県教育委員会・埼玉県中学校体育連盟

3. 後 援 公益財団法人埼玉県スポーツ協会

4. 場 所 所沢市民体育館

5. 試合方法 <団体戦>男女ともにトーナメント戦とする。

男女とも上位6校を関東大会、優勝校を全国大会の埼玉県代表とする。

男女とも関東大会出場決定戦を準決勝の前に行う。

<個人戦>男女ともにトーナメント戦とする。3位決定戦を行う。

男女とも上位4名を関東大会、上位2名を全国大会の埼玉県代表とする。

6. 試合規則 全日本剣道連盟(以下、全剣連)試合、審判規則同細則、全剣連「主催試合実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、並びに埼玉県中体連剣道専門部(以下、中体連)申し合わせ事項に則る。

7. 参加者数 (1)各地区予選通過チーム(者)とし、団体戦は男女ともに52チームとする。個人戦は男女ともに192名とする。

(2)競技参加人数は、団体戦は男女とも、監督1名・選手5名・補員2名の計8名以内とする。個人戦の参加者には、監督1名をつける。監督は部活動指導員も可とする。

(3)外部指導者については中体連専門部申し合わせで定める。

8. 代表者会議 令和7年7月8日(火) スポーツ総合センター

個人戦の抽選については常任委員会を経て、強化部が責任抽選する。

9. 表 彰

種目別	優 勝	準 優 勝	第 3 位
団 体	優勝旗、カップ、賞状	賞状	賞状
個 人	賞状	賞状	賞状

10. その他 円滑な大会運営に御協力をお願いします。

新人体育大会兼県民総合スポーツ大会実施要項

1. 日 時 令和7年11月12日（水）男女団体戦 8試合場

◇日程

会場役員 集合・入館 8:00
選手入場、受付（顧問・審判員）、検定開始 8:30～
選手準備運動・審判会議・受付終了予定 ～9:40
開会式 9:50
試合 女子ベスト8 (20分×5試合＝100分)
男子ベスト8 (20分×5試合＝100分)
男女準々決勝 (8試合場一斉 準備でき次第 25分)
男女準決勝 (4試合場一斉 紹介アナウンス有 25分)
男女決勝 (2試合場一斉 紹介アナウンス有 25分)
閉会式予定 15:00
退館 15:30

2. 主 催 埼玉県教育委員会・埼玉県中学校体育連盟

3. 後 援 公益財団法人埼玉県スポーツ協会

4. 場 所 埼玉県立武道館

5. 試合規則 全日本剣道連盟（以下、全剣連）試合、審判規則同細則、全剣連「主催試合実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、並びに埼玉県中体連剣道専門部（以下、中体連）申し合わせ事項に則る。

6. 試合方法 <団体戦>男女ともにトーナメント戦とする。順位決定戦は行わない。

7. 参加者数 (1) 各地区予選通過チームとし、団体戦は男女ともに48チームとする。
(2) 競技参加人数は、団体戦は男女とも、監督（部活動指導員も可）1名・選手5名・補員2名の計8名以内とする。
(3) 外部指導者については中体連専門部申し合わせで定める。

8. 代表者会議 令和7年10月14日（火） 県立武道館

抽選・組み合わせについて、学校総合体育大会のベスト8をシードとし、シード校が予選で敗退した場合、その学校のある予選地区にシード権を与える。ベスト8のシード枠は抽選前にトーナメント表に表記する。
※同一予選母体から複数シード校が出場する場合、同一ブロックにならないよう配慮する。ただし、準決勝以上の組み合わせについては、その限りではない。
※さいたま市から9校以上出場の場合、初戦での対戦にならないよう配慮する。

9. 表 彰

種目別	優 勝	準 優 勝	第 3 位
団 体	カップ2個、賞状	賞状	賞状

10. そ の 他 「参加要項・全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則、埼玉県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項」を熟読の上、円滑な大会運営に御協力をお願いします。

第47回埼玉県剣道大会（中学校の部）実施要項

1. 日 時 男女個人戦 令和7年11月13日（木） 8試合場

◇日程

会場役員 集合・入館 8:00
 選手入場、受付（顧問・審判員）、検定開始 8:30～
 選手準備運動・審判会議・受付終了予定 ～9:40
 開始式 9:50
 試合 女子ベスト32（5分×20試合＝100分）
 男子ベスト32（5分×20試合＝100分）
 男女ベスト8（5分×6試合＝30分）
 男女準々決勝（8試合場 準備でき次第 開始アナウンスなし 5分）
 男女準決勝（4試合場一斉 紹介アナウンス有 5分）
 男女決勝（2試合場一斉 紹介アナウンス有 5分）
 終了式予定 15:00
 退館 15:30

2. 主 催 埼玉県教育委員会・埼玉県中学校体育連盟・（公財）埼玉県剣道連盟

3. 後 援 公益財団法人埼玉県スポーツ協会

4. 場 所 埼玉県立武道館

5. 試合規則 全日本剣道連盟（以下、全剣連）試合、審判規則同細則、全剣連「主催試合実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、並びに埼玉県中体連剣道専門部（以下、中体連）申し合わせ事項に則る。

6. 試合方法 <個人戦>男女ともにトーナメント戦とする。順位決定戦は行わない。

7. 参加者数 （1）各地区予選通過者とし、男女ともに192名とする。
 （2）個人戦の参加者には、監督または部活動指導員1名をつける。
 （3）外部指導者については中体連専門部申し合わせで定める。

8. 代表者会議 令和7年10月14日（火） 県立武道館
 強化対策委員会で責任をもって組み合わせを行う。

9. 表 彰

種目別	優 勝	準 優 勝	第 3 位
個 人	賞状、メダル	賞状	賞状

※埼玉県剣道連盟より 優勝～5位、賞状、トロフィー

10. そ の 他 「参加要項・全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則、埼玉県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項」を熟読の上、円滑な大会運営に御協力をお願いします。

埼玉県剣道大会参加要項

1. 監督・部活動指導員・外部指導者の服装について

- (1) 服装は、以下のようにする。
学校総合体育：白色（無地）半袖ワイシャツ・グレー（無地）ズボン・エンジのネクタイ・紺色の靴下
新人体育大会：ブレザー（紺）、白色（無地）ワイシャツ・グレー（無地）ズボン・エンジのネクタイ・紺色の靴下
- (2) 試合場への時計の持ち込みは禁止する。（腕時計は身につけない。）
- (3) 既定の服装でない場合、会場への出入りを制限させていただくこともあります。部活動指導員や外部指導者の先生方へも服装については必ずご周知ください。

2. 選手の服装について

- (1) 開会式、閉会式の服装は、剣道着・袴に胴・垂れをつける。
- (2) 選手の剣道着・袴は、黒色・紺色または白色が望ましい。道場連盟のワッペン等はつけない。
- (3) 垂れにつける布製の名札は、黒または、紺地に白字で学校名（「中」を含む通称可）・姓を明記すること。また、同姓の場合は、必ず「名」を明記すること。

3. 試合場について

- (1) 役員・審判員・監督・選手・補助員・登録された外部指導者・部活動指導員以外は、試合場（メインアリーナ1階）へ入れない。外部指導者・部活動指導員は、IDカードをつけて入場する。IDカードをつけていない場合には、試合場への出入りはできない。
- (2) 試合場内での監督・部活動指導員・選手は指定された場所に座る。
- (3) 外部指導者は指定された場所にて観戦する。

4. 観戦・応援について

- (1) 応援は拍手のみとし、監督・選手のサインや声援は禁止とする。
- (2) 先鋒戦・大将戦は、監督・選手ともに正座する。
- (3) 会場内（競技場・観客席）への応援旗・激励旗の持ち込みは禁止する。

5. 竹刀について

- (1) 次の基準による。

	性別		中学生
長さ	男女共通		114センチメートル以下
重さ	男性		440グラム以上
	女性		400グラム以上
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上

- (2) 竹刀先革の長さは、50ミリメートル以上とする。
- (3) 中結の位置は、剣先から全長の約4分の1とする。
- (4) 竹刀の基準は細則第2条、規則第3条により上記表のとおりとする。四つ割りの竹の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状変更をしたものを使用してはならない。
- (5) 大会前に必ず竹刀を手入れする。検量の際の取り違いを防ぐために「柄に学校名と名前」を記入する。

6. つばについて

- (1) つばについては革色のもの（白色も可）を使用する。それ以外のものを使用している場合は、その場で、つばあるいは竹刀全てを取り替えさせる。ただし、竹刀は検量に合格したものでなければならない。
- (2) つばの大きさは直径9センチ以下とし、竹刀に固定する。
- (3) リバーシブル鰐については、茶色面を上に向けて使用することで使用を認める。これら以外のものを使用した場合には、その場で指導し、替えさせる。弦の色の規定はありません。

7. サポーター・足へのテーピング・足袋・コルセットの使用について

本大会では使用の際の「届け」は不要とするが、足へのテーピングの色は「白・茶」とする。そのほか医療上必要と認められる場合に限り使用を認める。相手に危害を加えたり、公正さに欠けたりするものは使用しない。市販されているものを加工、改造したりしないで使用すること。

8. 竹刀検量と準備運動について

- (1) 竹刀検量は学校総合体育大会では所沢市民体育館メインアリーナ脇の“休息コーナー2”で、新人戦では県立武道館の“1Fロビー”で、団体・個人戦ともに入館から開会式までを目安に行う。入館直後は女子を優先し、女子が終了後に男子を行う。各試合当日に必ず使用する竹刀を検定すること。団体戦と個人戦の両日で参加する場合は、前日の検定シールを剥がしておくこと。
- (2) 選手は竹刀検量を通していない竹刀を使つての準備運動・稽古を禁止とする。検量で竹刀が合格した選手から規定の時間・場所で行うものとする。また、竹刀等での場所取りは禁止とする。
- (3) **学校総合体育大会での準備運動について**
団体戦では、サブアリーナまたは多目的体育室で行い、開会式まで女子、開会式後は男子が利用して行う。メインアリーナでのアップは行わない。個人戦では、女子は開会式までメインアリーナで行い、男子は開会式の前後でサブアリーナにおいて行う。
- (4) **新人戦の準備運動について**
団体戦・個人戦ともに、女子は開会式まで主道場で行い、男子は開会式の前後で第二道場を利用して行う。
- (5) 個人戦において、学校からの参加選手が1名のみの場合は準備運動の相手として、アップ要員1名を入館させ、規定の時間に決められた場所で練習を行っても構わない。ただし、アップ要員として入館した生徒は開会式以降、試合場（フロア）へは入れません。また、アップ要員が使用する竹刀は顧問が責任を持って竹刀検量と同等の確認すること。
- (6) 学校総合体育大会において団体戦のアップ会場となるサブアリーナや多目的体育室は、狭くなっています。先にアップを始めた学校は、後から始める学校のために早めに終わりにしてください。事故や怪我、トラブルの防止のためご協力をお願いします。また、会場準備が早めに終了した場合は、メインアリーナをアップ会場として開放することもあります。

9. 開会式・閉会式について

- (1) 開会式における監督・選手・審判員の整列隊形は、別紙「開会式の整列隊形」の通りとする。速やかに整列できるよう、選手への周知を徹底してください。
- (2) 開会式の選手宣誓は、団体戦では組み合わせ1番の学校の代表生徒1名、個人戦では組み合わせ1番の選手とする。また、選手宣誓は学年の代替わりを基準として男女を入れ替えて行うものとする。

年度	大会	団体戦	個人戦
6 (昨年度)	学総	女子	男子
	新人	男子	女子
7 (本年度)	学総	女子	男子
	新人	女子	男子
8 (次年度)	学総	男子	女子
	新人	男子	女子

- (3) 閉会式には団体戦・個人戦ともにベスト8以上の学校・選手が参加してください。
- (4) 次第

開会式

1. 開会宣言 …副委員長
2. 挨拶 …部長・委員長
3. 審判長注意 …審判長
4. 選手宣誓

閉会式

1. 成績発表および表彰
2. 講評 …審判長
3. 閉会宣言 …副委員長

10. 試合の進行について

(1) 2大会（学校総合、新人）とも、以下の順で進行する。

団体戦 「ベスト8→男女準々決勝→（学総のみ関東大会出場決定戦）→男女準決勝→男女決勝」

個人戦 「女子ベスト32→男子ベスト32→男女ベスト8→男女準々決勝→男女準決勝→（学総のみ男女順位決定戦）→男女決勝」

※第1試合の開始は団体の挨拶、個人では正面の挨拶を本部アナウンスにより一斉に行い、選手は試合開始の合図を待つ。

※準決勝、決勝については「ただいまより〇〇戦を行います。学校名（読み上げる）、試合を開始してください」で開始する。決勝戦は開始前、終了後「正面に礼」を行う。

(2) **学校総合体育大会において団体戦では**、次の試合のチームは横の待機場所ですぐに待機をする。基本的には奇数の試合番号は役員席側、偶数の試合番号は中央寄りの待機場所を使用する。前の試合の団体礼が終わったら、速やかに整列、団体礼をし、先鋒戦を開始する。監督席は待機場所の外側とする。荷物の移動は行わない。

(3) **新人戦において団体戦では**、次の試合のチームは後ろの待機場所ですぐに待機をする。前の試合の団体礼が終わったら、速やかに整列、団体礼をする。監督は速やかに所定の位置に座り、先鋒戦を開始する。監督席は待機場所の前列の外側とする。先鋒戦が始まった後に、荷物の移動を行う。

(4) 個人戦では、次の試合の選手は待機場所内に「予備の竹刀」を置き、前の試合が終わったら速やかに次の試合が始められるように準備をする。また「水筒」は試合場近くの壁際に置いておくこと。監督の待機場所は学校総合体育大会では役員席側、新人戦では外側とする。

11. 試合について

(1) 若い番号を赤とし、紅白の目印は各校で持参する。

(2) 監督は出場校勤務の校長・教員・指導員を原則とする。団体戦では1回戦から、個人戦ではベスト16以降の試合には監督が必ずつく。複数の選手等が勝ち上がり、自校の教員等が足りない場合には、原則その学校の教員等が同予選母体（いない場合には同東西南北さ地区）の教員等に、監督を依頼する。試合進行が止まらないように、全体でご協力ください。

(3) オーダー表について

① オーダー表と提出用の封筒は埼玉県中体連剣道専門部HPのテンプレートを使用して作成する。会場ごとで掲示ボードの大きさに差があるため、**用紙サイズは学校総合体育大会では「B5」、新人戦では「A4」で作成してください。**サイズ間違いで受付を通った場合は、会場で監督が手書きで作成してください。

② 団体戦では氏名の上に「先」「次」「中」「副」「大」を明記し、間違いのないようにする。選手がいないポジションについても白紙で作成する。選手は「黒字」、補員は「赤字」で作成する。オーダー表は提出用の封筒に入れて、受付で提出をしてください。学校名の短冊は専門部で用意します。

③ 個人戦では男女とも氏名は「黒字」で作成し、上部にトーナメント表の選手番号を付する。その際、男子は「黒字」、女子は「赤字」で作成する。オーダー表は選手が試合会場に提出をしてください。

④ 同姓の選手が出場する場合は、右下に「名」を記載する。オーダー表と垂れの名札は同じ漢字・氏名とすること。

(4) 試合結果の掲示は審判部より提示された「掲示要領」に従う。

12. 選手変更について

(1) 補員の起用については、参加申し込み用紙に記載してある補員のみとし、起用は下記によるものとする。

① 補員を起用する場合は、自チームの試合が行われる試合場の試合場主任に申し出て許可を得る。

② 補員の起用は交替者の位置とし、オーダー変更と交替者の再出場は認めない。

13. 会場役員について

(1) 競技役員については生徒に協力を依頼する。休憩等の交代も含めて6名以上（記録1名・計時1名・タイマー旗1名・掲示3名）とする。代表者会議で各地区より調整を行う。

(2) 各試合場の役員席には、「審判主任（教員）・試合場主任（教員）・計時（生徒）・タイマー旗（生徒）・記録（生徒）・掲示担当（教員）」の6名が着く。

14. シード権について

(1) 学校総合体育大会

団体戦： 新人体育大会のベスト8をシードとし、シード校が予選で敗退した場合、その学校のある予選地区にシード権を与える。ベスト8のシード枠は抽選前にトーナメント表に表記する。

個人戦： 強化対策委員会で責任をもって組み合わせを行う。

(2) 新人体育大会

団体戦： 学校総合体育大会のベスト8をシードとし、シード校が予選で敗退した場合、その学校のある予選地区にシード権を与える。ベスト8のシード枠は抽選前にトーナメント表に表記する。

個人戦： 強化対策委員会で責任をもって組み合わせを行う。

※同一予選母体から複数シード校が出場する場合、同一ブロックにならないよう配慮する。ただし、準決勝以上の組み合わせについては、その限りではない。

※さいたま市から9校以上出場の場合、初戦での対戦にならないよう配慮する。

15. その他

(1) 県大会の準備・運営・後片付けは専門部役員が中心となり、大会参加全顧問の協力により、実施するものである。

(2) 各大会終了後、常任委員会を開き、大会の反省を話し合うとともに次行事への準備に当てる

会場使用上の注意

1. 学校総合体育大会における駐車場について

- ① 役員、審判員、駐車券のある生徒役員の送迎者は所沢市民体育館駐車場を使用して下さい。満車の際の駐車場はありません。駐車料金200円（自費）がかかります。お釣りのないようにご準備ください。
- ② 監督（役員のない教員等）、選手、応援者等の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
- ③ 周辺の交通整理やルール等について別紙にてご確認の上、ご参加ください。

2. 入館について

- ① 会場役員の生徒は1階正面入口より入場する。
- ② <団体戦>
選手・監督は2階玄関前に集合、規定の時間に学校ごとまとめて入館する。IDを着用する。
<個人戦>
選手・監督【校長・教員・部活動指導員（以下「指導員」）】・アップ要員は各学校まとめて2階玄関から入館する。選手IDがないので、各校監督が責任を持って、選手を入館させる。
<応援者・保護者等>
選手・監督入館後、2階玄関より各学校でまとめて入館する。
学校総合体育大会での応援者は原則2・3年生のみとさせていただきます。
新人体育大会での応援者は1・2年生のみとさせていただきます。
- ③ 応援席は「割り振り図」の通り、各地区で譲り合って利用して下さい。
- ④ 貴重品の管理は各学校の責任で徹底して下さい。（盗難が多発しています）
- ⑤ 保護者を含めて「靴袋」を用意して下さい。裸足で外に出ない。（靴の取違いも多発しています）
館内のスリッパは使用できません。各自で準備をしてください。
- ⑥ 雨天時は、各校でビニール袋を用意し、傘などは各校でまとめて管理をしてください。くれぐれも館内をぬらさないようにご協力をお願いします。
- ⑦ 学校関係者以外の入館はお断りします。

3. 受付について

- ① 団体戦については、2階入口付近にて監督がオーダー表を封筒に入れて提出し、完了とする。
- ② 個人戦については、男女それぞれ規定の時間を目安に、各試合場へ選手本人がオーダー表（トーナメント表の番号を各自で記入したもの）を提出し、完了とする。
- ③ 外部指導者のIDは受付にて監督が受け取り外部指導者に配布する。外部指導者IDは退館の際に監督が預かり、受付の返却ボックスに返却をする。
- ④ 審判員・役員等の受付は学校総合体育大会では2階の会議室1付近、新人戦では1階の会議室付近にて行います。

4. 観戦・応援について

- ① 座席は割り振り図に従って座って下さい。責任者は副委員長、地区理事です。
- ② 選手・監督・部活動指導員・役員以外は試合会場となるメインアリーナ1階やエントランスホール等の所沢市民体育館1階や埼玉県立武道館主道場へは降りられません。
- ③ 応援は拍手のみとし、声を出しての声援やサインは禁止です。
- ④ 試合進行が止まらないように、全体でご協力ください。

5. 写真や動画の撮影について

- ① カメラのフラッシュを禁止する。携帯電話での撮影（ライト）についても充分留意する。
- ② 試合会場での撮影は禁止する。写真や動画の撮影は2階観覧席から行うこと。
- ③ 撮影した写真や動画は部活動の記録用としての使用用途とし、YouTube等のインターネットへのアップロードなどは禁止とする。

6. 女子の更衣について

- ① 学校総合体育大会では館内の会議室2または更衣室を使用してください。更衣後、荷物は全てメインアリーナ観覧席に移動して下さい。
- ② 新人戦では館内の第一道場（柔道場）または更衣室を使用してください。更衣後、荷物は全てメインアリーナ観覧席に移動して下さい。

7. 昼食について

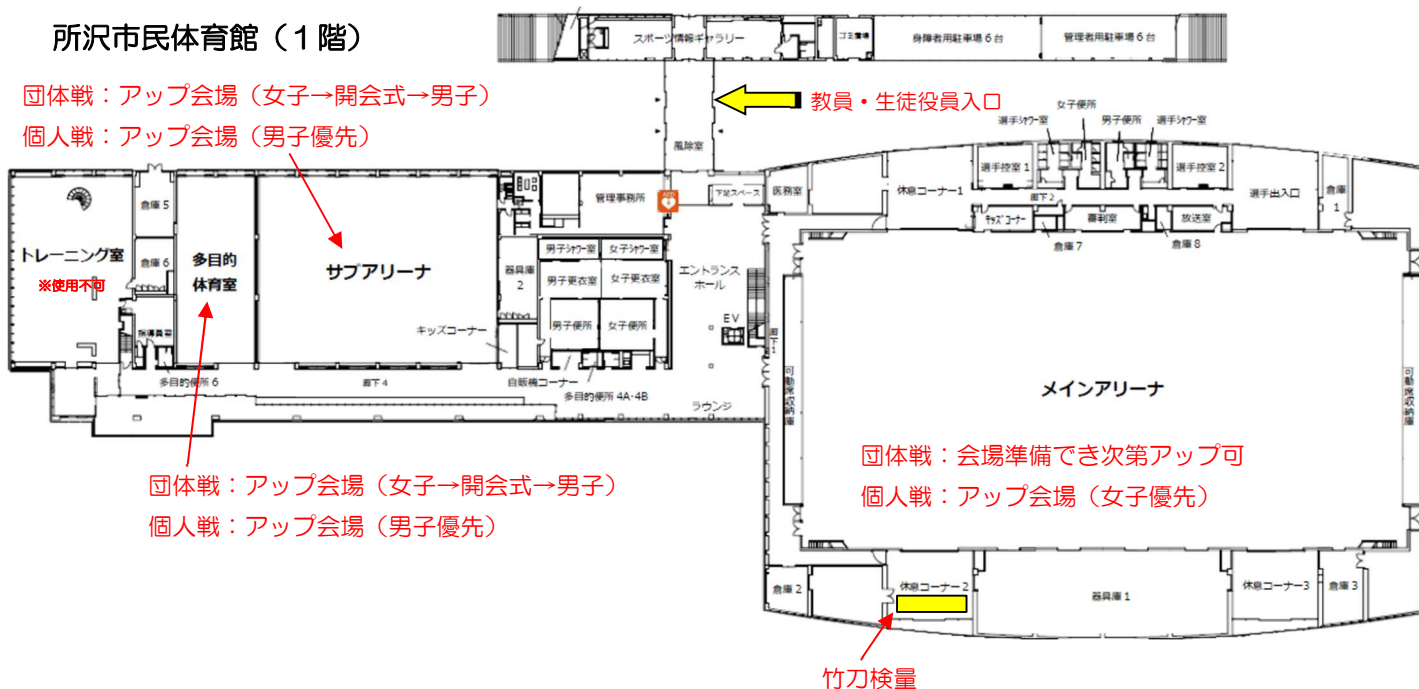
- ① 昼食時間は設けませんので、各校適時にとって下さい。

8. その他

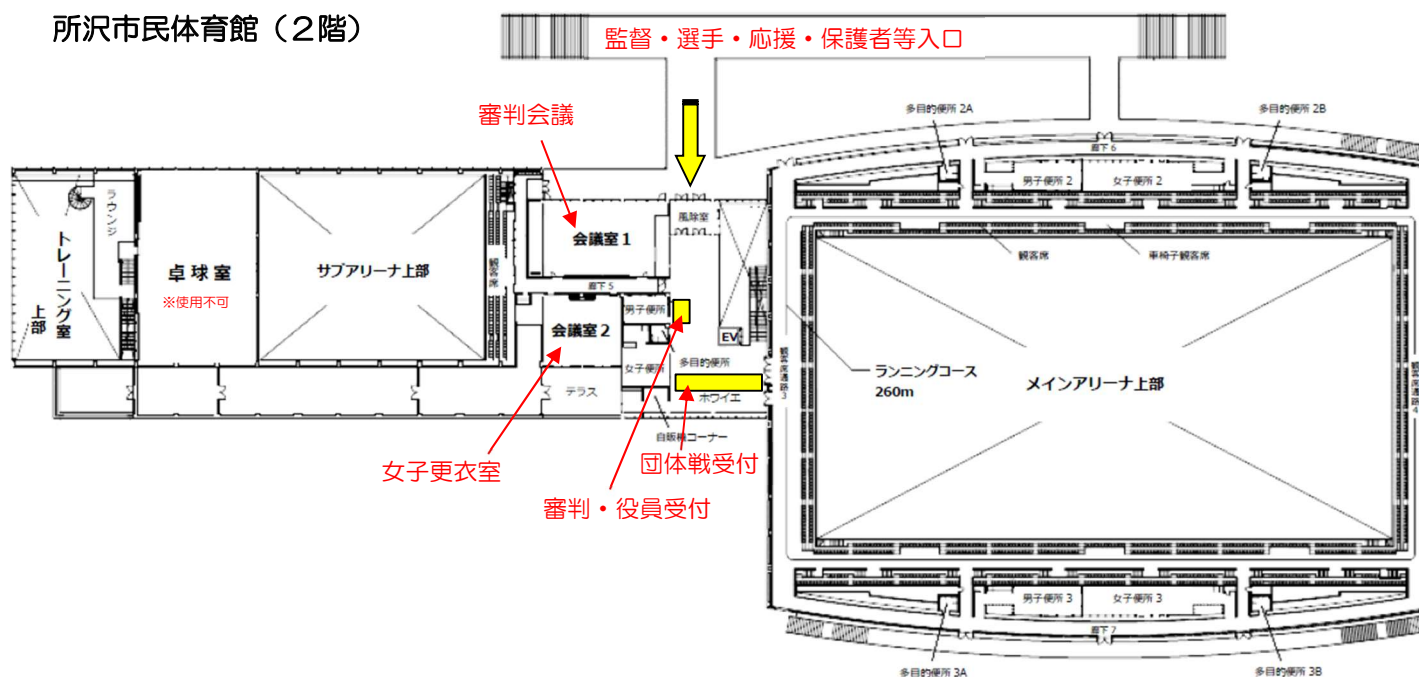
- ① 所沢市民体育館では館内・駐車場内・外も含めた敷地内はすべて禁煙です。喫煙スペースもありません。喫煙のルールを厳守してください。

9. 会場使用予定図

所沢市民体育館（1階）

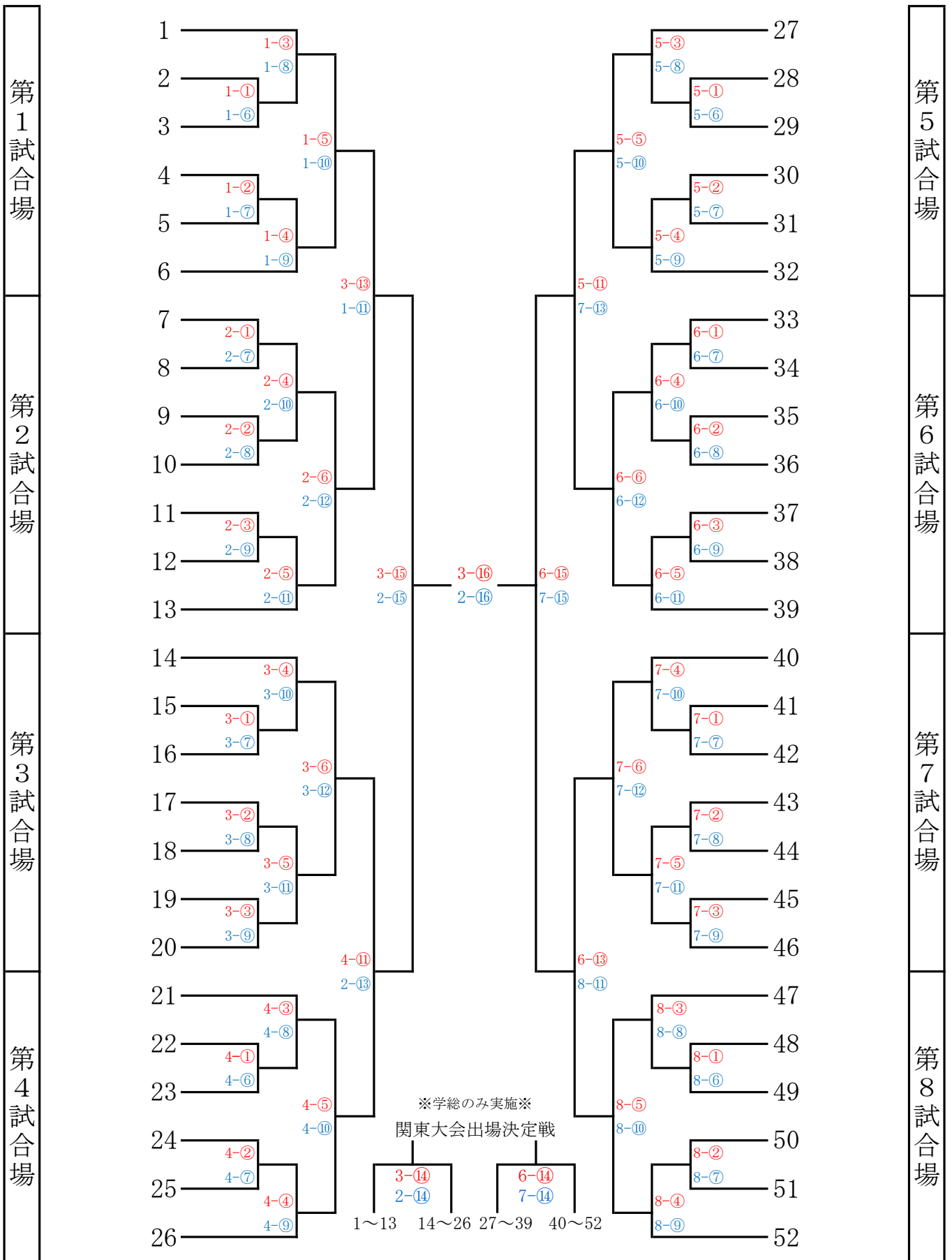


所沢市民体育館（2階）



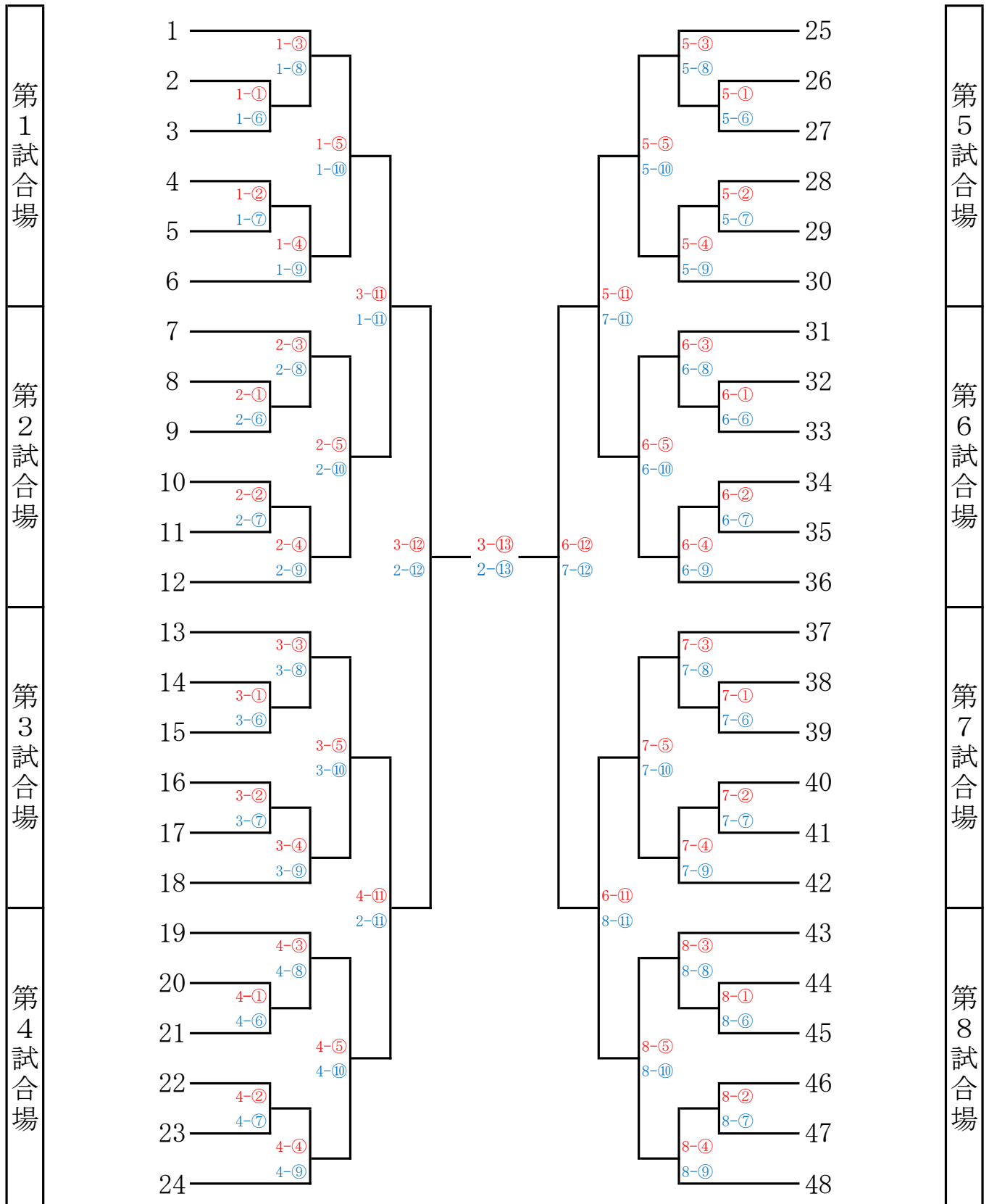
令和7年度 学校総合体育大会 団体戦

※定数5 2校※ 【女子・男子】

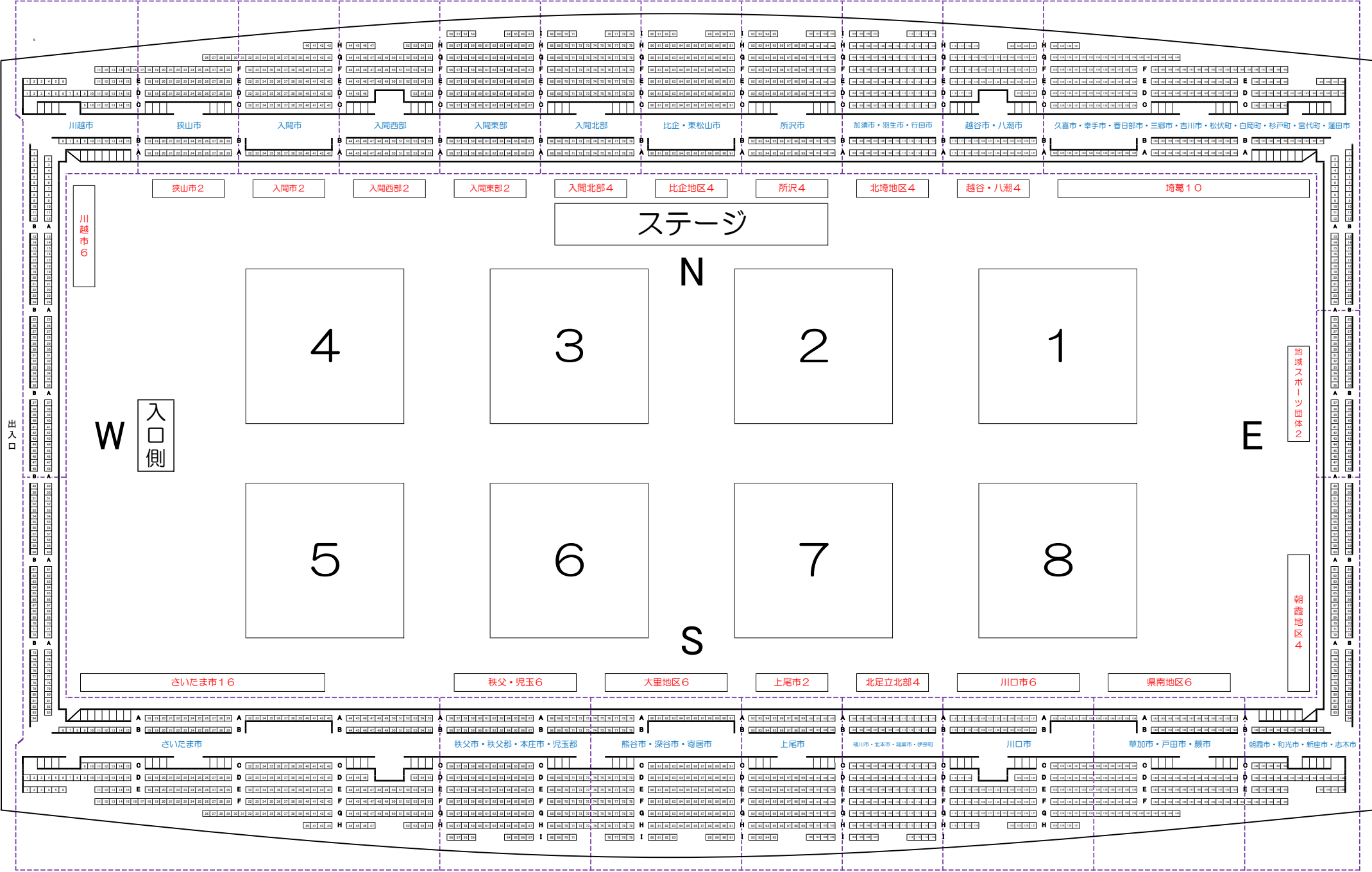


令和7年度 新人体育大会兼県民総合スポーツ大会 団体戦

※定数48校※【女子・男子】

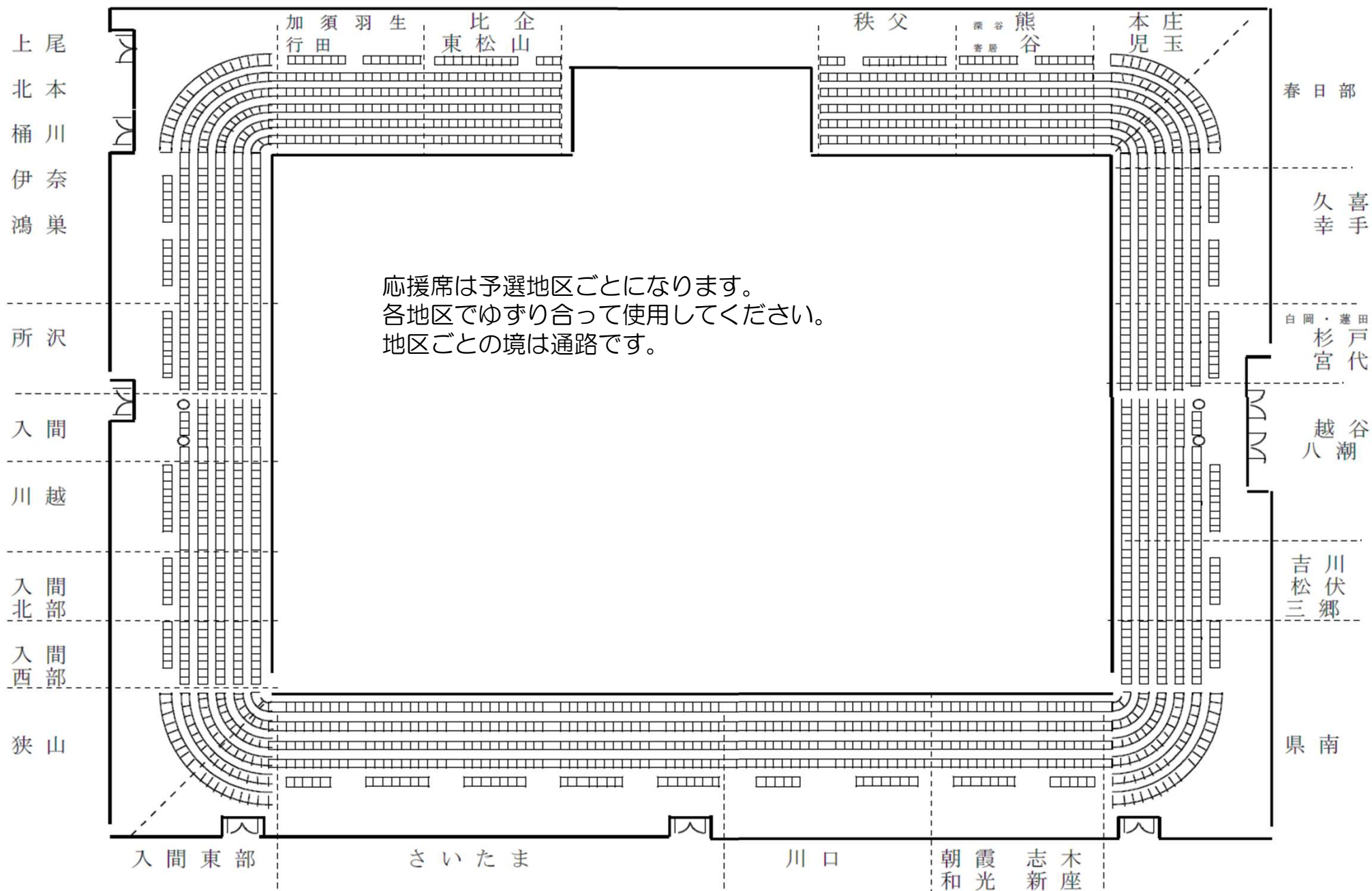


学校総合体育大会 県大会 (所沢市民体育館 メインアリーナ観客席・割り振り図)



新人戦 県大会 (埼玉県立武道館 主道場観客席・割り振り図)

～平成25年度剣道専門部要覧県大会出場定数の地区配当による～



駐車場に関するお願い

※車で来場する方は、全員が共通理解してください※

学校総合体育大会の県大会では「所沢市民体育館」を使用します。体育館には駐車場はありますが、駐車台数が限られ、一般の方も利用します。そのため利用できるのは「駐車券」を持つ次の方のみとさせていただきます。ご理解をいただければと思います。

- ① 役員（教員の役員で大会当日役割のある方） ② 審判員 ③ 生徒役員の送迎者

上記の方の駐車を必ずお約束できる訳ではありませんので、満車の際はご了承ください。また可能な限り、乗り合いで来ていただき、駐車台数の削減にご協力をお願い致します。

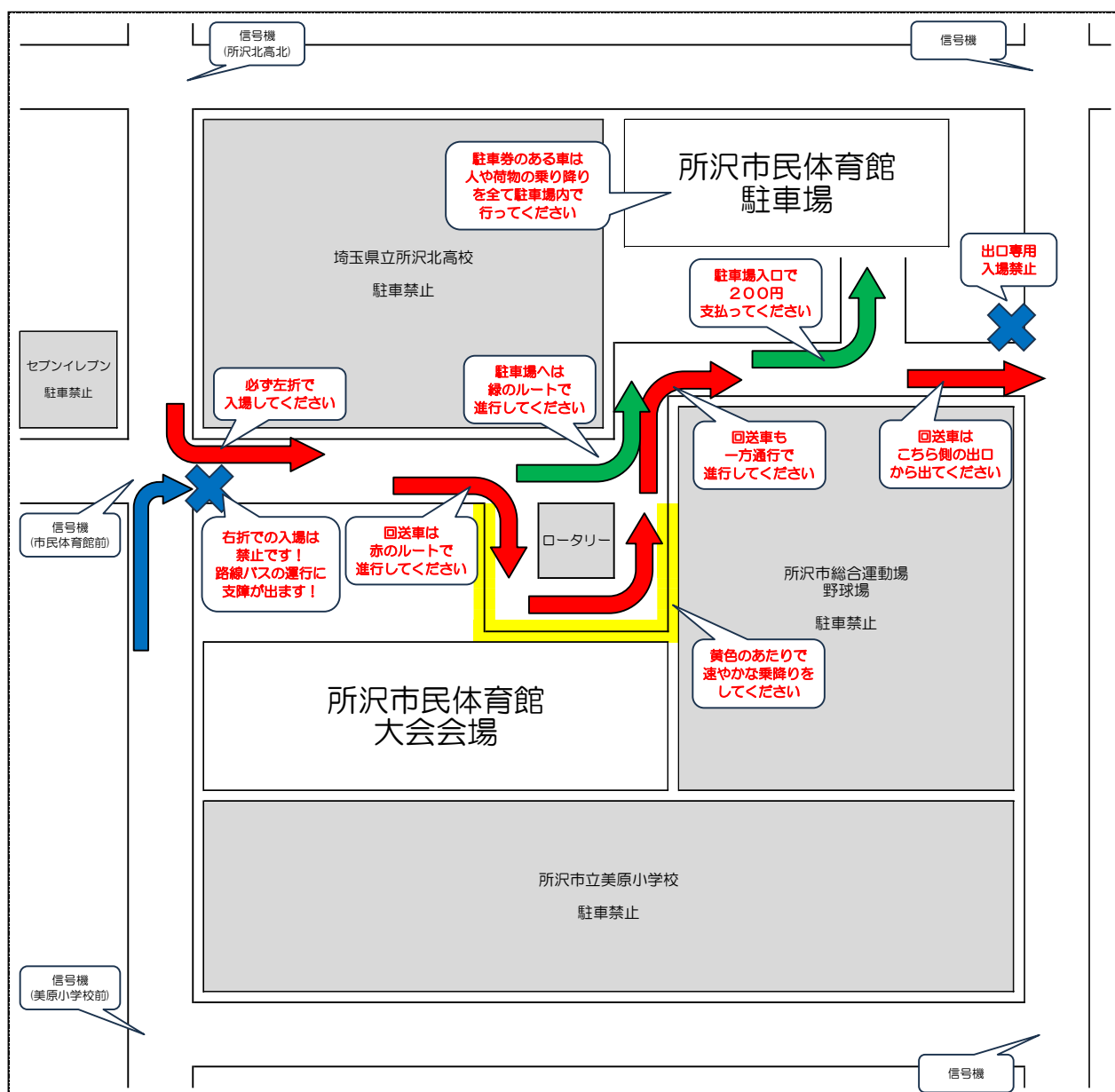
駐車券については原則、代表者会でお渡します。

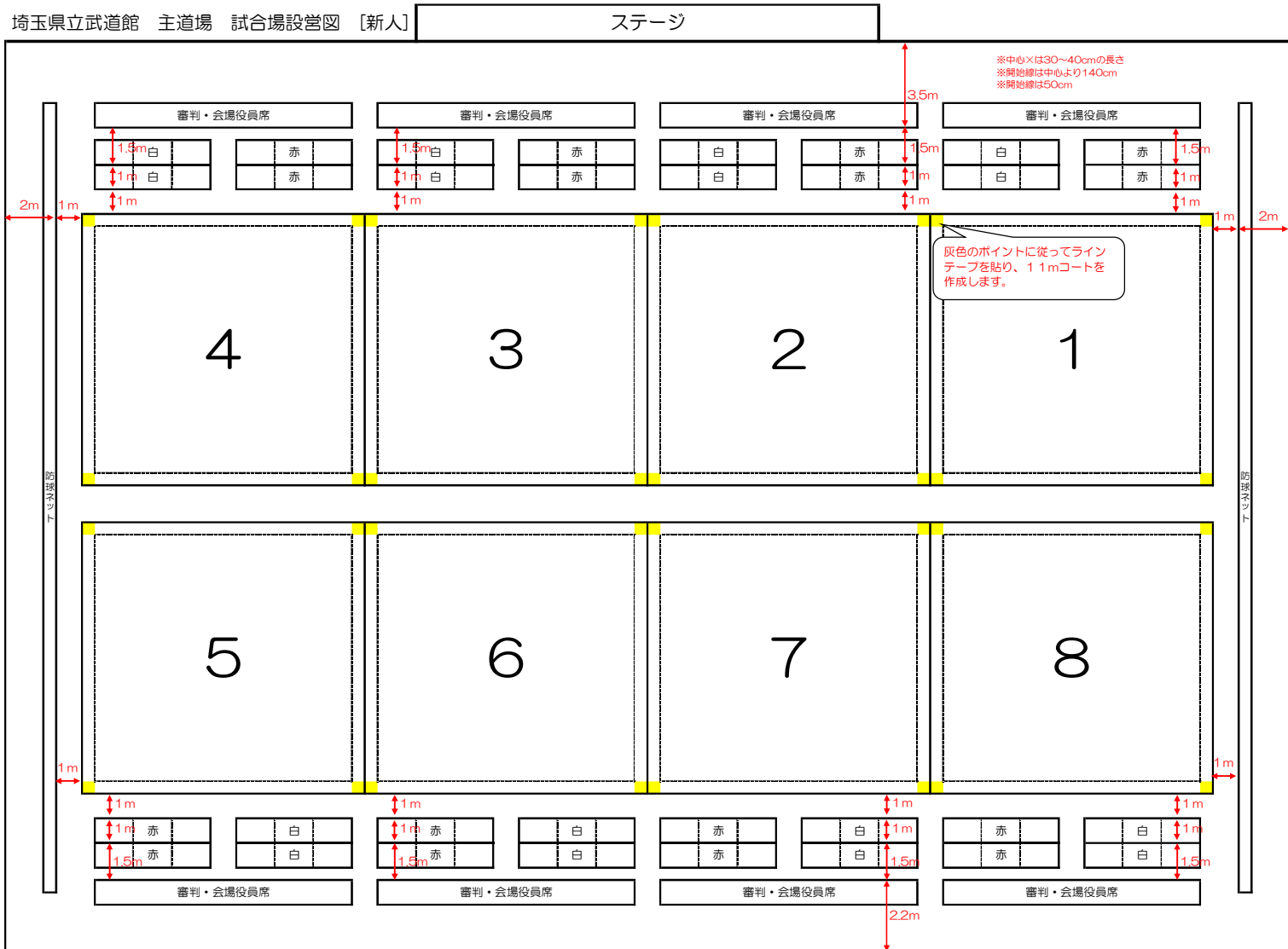
監督（役員のいない教員等）・選手・応援者等は原則、公共交通機関をご利用ください。また、自家用車の回送による送迎は可能です。下記の地図を参考にいただき、交通ルールやマナーを守って行うようにしてください。なお、周辺での事故や怪我については、一切の責任を負うことはできませんので予めご了承ください。

駐車スペースの都合上、貸切バスは一切駐車できません。利用する学校はすべて回送としてください。また、乗降りはスムーズに行っていただき、帰りの際にバスが路上等で待機しないようにお願いします。

体育館周辺の道路では駐停車禁止です。また、隣接するセブンイレブンや周辺の公共・商業施設等には絶対に駐車しないようにお願いをします。一時的な生徒の乗り降りも絶対にしないでください。近隣の住民や施設等の迷惑になってしまいます。みなさまのご協力で成り立つ県大会です。ご不便に感じることもあるかと思いますが、ご容赦いただき、ご理解いただければ幸いです。何卒、よろしくお願い致します。

周辺の位置関係については下記の地図を参考にしてください。役員・生徒役員の入館は8：00から、監督・選手・応援の入館は8：30からです。あまり早く来すぎないようにご配慮ください。





ステージ

監督は各試合場の線を基準に
整列をしてください。

審判員はステージと試合場の机との間に
1列に並んでください。

☆監督
◎主将
○選手

第5試合場～第8試合場 審判員

第1試合場～第4試合場 審判員

第8試合場女子 第7試合場女子

52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第4試合場

第6試合場女子 第5試合場女子

39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第3試合場

第4試合場女子 第3試合場女子

26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第2試合場

第2試合場女子 第1試合場女子

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第1試合場

第8試合場男子 第7試合場男子

52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第5試合場

第6試合場男子 第5試合場男子

39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第6試合場

第4試合場男子 第3試合場男子

26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第7試合場

第2試合場男子 第1試合場男子

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第8試合場

ステージ

選手は各試合場の線を基準に
整列をしてください。

審判員はステージと試合場の机との間に
1列に並んでください。

第5試合場～第8試合場 審判員

第1試合場～第4試合場 審判員

第8試合場男子 第7試合場男子

185	177	169	161	153	145
186	178	170	162	154	146
187	179	171	163	155	147
188	180	172	164	156	148
189	181	173	165	157	149
190	182	174	166	158	150
191	183	175	167	159	151
192	184	176	168	160	152

第4試合場

第6試合場男子 第5試合場男子

137	129	121	113	105	97
138	130	122	114	106	98
139	131	123	115	107	99
140	132	124	116	108	100
141	133	125	117	109	101
142	134	126	118	110	102
143	135	127	119	111	103
144	136	128	120	112	104

第3試合場

第4試合場男子 第3試合場男子

89	81	73	65	57	49
90	82	74	66	58	50
91	83	75	67	59	51
92	84	76	68	60	52
93	85	77	69	61	53
94	86	78	70	62	54
95	87	79	71	63	55
96	88	80	72	64	56

第2試合場

第2試合場男子 第1試合場男子

41	33	25	17	9	1
42	34	26	18	10	2
43	35	27	19	11	3
44	36	28	20	12	4
45	37	29	21	13	5
46	38	30	22	14	6
47	39	31	23	15	7
48	40	32	24	16	8

第1試合場

第8試合場女子 第7試合場女子

185	177	169	161	153	145
186	178	170	162	154	146
187	179	171	163	155	147
188	180	172	164	156	148
189	181	173	165	157	149
190	182	174	166	158	150
191	183	175	167	159	151
192	184	176	168	160	152

第5試合場

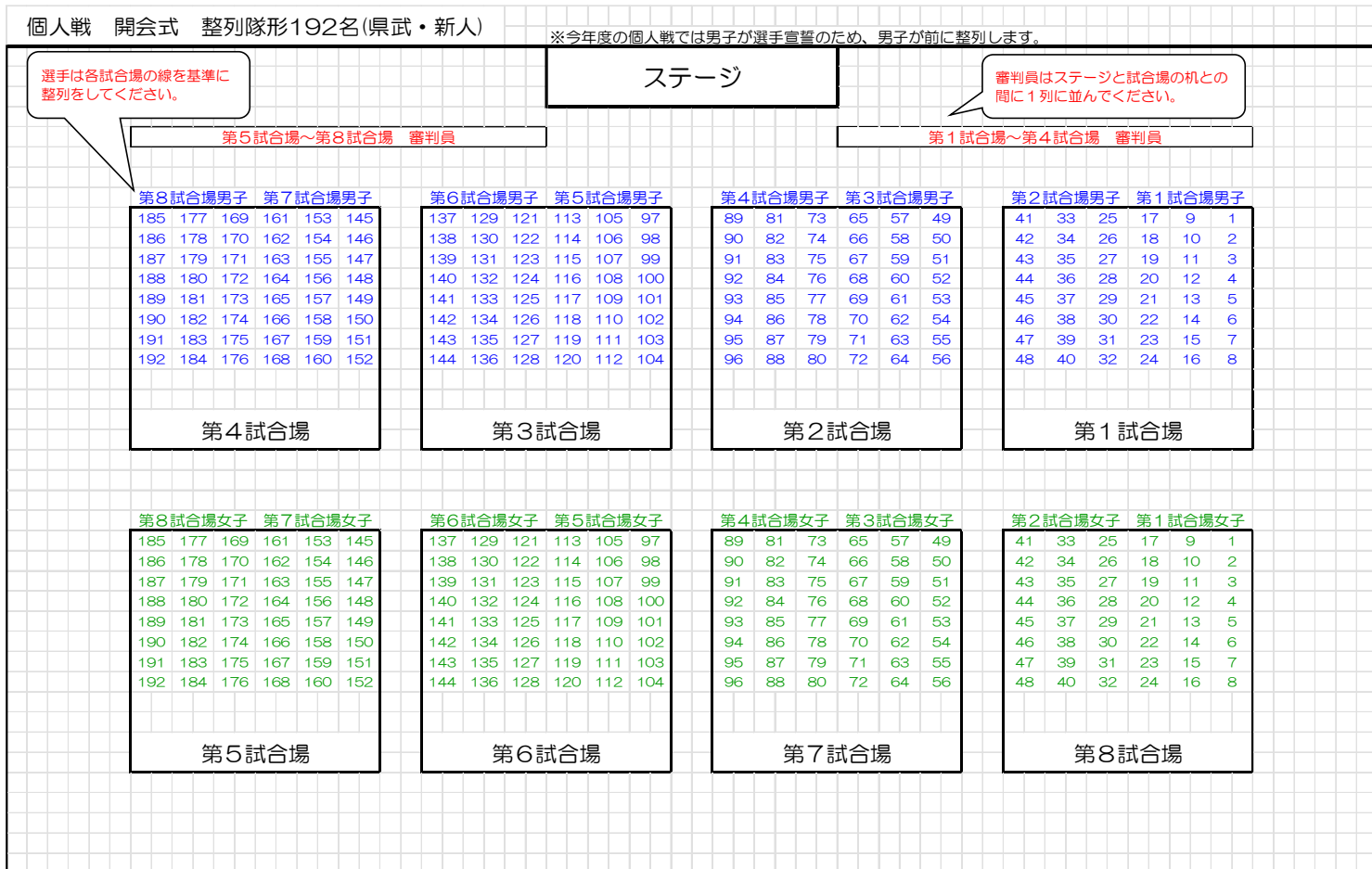
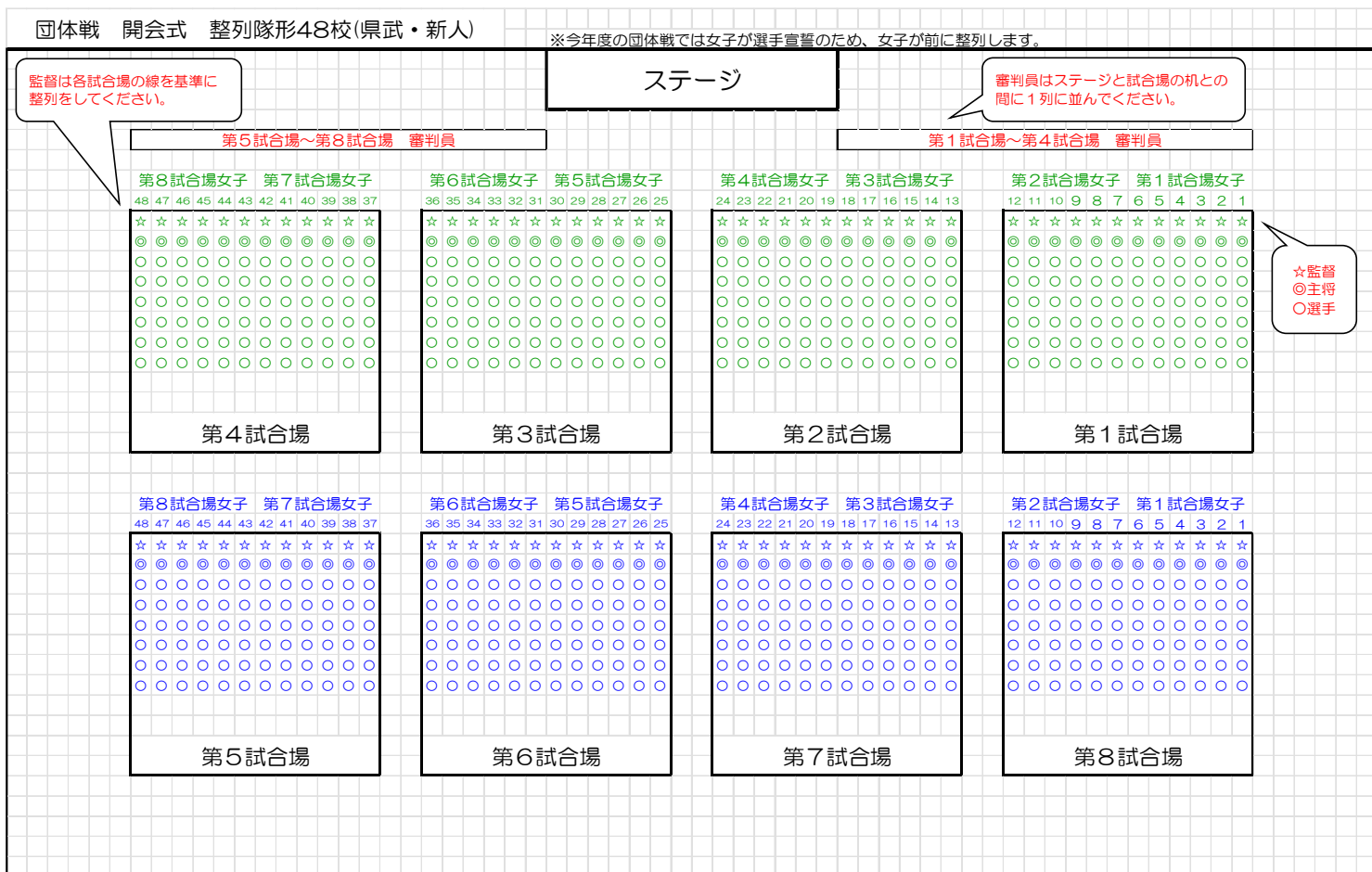
第6試合場女子 第5試合場女子

137	129	121	113	105	97
138	130	122	114	106	98
139	131	123	115	107	99
140	132	124	116	108	100
141	133	125	117	109	101
142	134	126	118	110	102
143	135	127	119	111	103
144	136	128	120	112	104

第6試合場

第4試合場女子 第3試合場女子

89	81	73	65	57	49
90	82	74	66	58	50
91	83	75	67	59	51
92	84	76	68	60	52
93	85	77	69	61	53
94	86	78	70	62	54
95	87	79	71	63	55
96	88	80	72	64	56



【審判部・競技部兼用】県大会審判・競技役員報告用紙

埼玉県中体連剣道専門部

地区名 東 ・ 西 ・ 南 ・ 北 ・ さいたま市

予選地区（ ） 報告者（ ）

大会名 学校総合体育大会 ・ 新人体育大会

1 県大会 団体戦出場校（予選順位の順に記入してください。抽選順となります。）

男子				女子			
1		5		1		5	
2		6		2		6	
3		7		3		7	
4		8		4		8	

2 県大会審判名簿

氏名	学校名	段位	団体戦	個人戦

※可能な日に ○ を記入

3 県大会競技役員名簿

氏名	学校名	段位	団体戦	個人戦

👉過去の県大会で試合場主任・掲示担当経験有の場合○をつける。

※可能な日に ○ を記入

【諸注意】 ○引率者は必ずどちらかの名簿に入ります。

【重要（厳守）】

○大会の運営組織を決めるため、各地区予選終了3日以内に、速やかにFAXをお願いします。鏡文は不要です。

○昨年度より県代表者会議の際の提出は不要となっています。

埼玉県中体連剣道専門部 審判部

R 7 専門委員長会議資料

R 6 学総 男女団体戦 反省

◎審判について

- ・他会場監督については極力さけていただきたい。 ・合議反則について判断が遅い場面があった
- ・引き技、胴技については有効打の見逃しや旗が分かれる場面が比較的によくあった。積極的にとっていく意識をもつ必要がある。
- ・打突の後追いと3人の審判員の呼吸合わせ、正しい立ち位置への切り込みをより意識して有効打突のとり逃しをなくしていく
- ・位置取りが3人の間でくずれてしまう場面があった。 ・後追いが不十分な時があった
- ・旗が割れることが多くあった。強度は試合を重ねるごとに合わせていけたのでよかった。
- ・選手の技量によっては時間空費の反則は難しいと感じた。 ・副審が選手の後ろから試合を見ている。
- ・後追いの徹底 ・女子から男子に入れ替わるところの交代が遅い。進行の遅れが出た。
- ・位置取りに課題あり。 ・有効打突の差し違える方が数名 ・審判員は選手から目を離さない

◎試合について

- ・監督の声援が気になった ・所作が雑な選手が多く見られた ・水筒の置き場所について
- ・面紐の長さ、結ぶ位置の指導徹底が必要 ・全体的に相手に対する礼が雑と感じた。
- ・声援や入場前後のパフォーマンスに対してどのように対応していくか（4名からの意見）
- ・水筒を自分の横に置いて試合に臨む選手がいた。 ・選手の入替え時のグータッチもあった
- ・検量シールが見えにくい。立礼の時に拳で隠れないようにしたい。

◎大会運営について

- ・審判員の休憩が取れない ・男女入れ替え時に多少時間があつてほしい
- ・関東大会出場の選出は本部からが良いと思う。 ・暑い

R 6 学総 男女個人戦 反省

◎審判について

- ・副審の位置取りが悪い。遅い。 ・技の見極め、反則への対応も良かった。
- ・個人戦の監督で抜けていく先生が多い。選手のことが気になるのもわかるが、審判も気にしてほしい。
- ・副審が試合者から離れすぎている。 ・旗が2本上がったのに取り消された場面があった。
- ・残心までしっかり見る。 ・合議の際のアクション？がいない。
- ・審判主任が審判に入ることが多い。審判員を増やしたい。

◎試合について

- ・外部指導者の声援に注意をしました。 ・監督席のわからない顧問がいた。（注意しても動かない）
- ・監督席のスペースをあらかじめとっておいてもよい。 ・面紐の結び目が高い選手が多かった。
- ・不正な中止要請、鰐競り合いの反則が何度かあった。主審が見逃すことなく合議をかけていたので、その後は目立たなかった。
- ・初戦で不正竹刀の使用があり、開始後に気づいたため失格扱いとなった。
- ・外部指導者でノーネクタイの方がいた。
- ・鰐競り合い時間が長く、位置が高い。
- ・選手の面にシールが貼ってあった。光ってしまうのでは？競技と確認を。

◎大会運営について

- ・シールの色が見えにくい。 ・本部上は進行禁止にしてい。 ・スムーズに進行していた。
- ・試合開始の際、審判・役員は各試合上に着席していると集まりやすいと思う。
- ・審判ができるのに、監督だけで来ている先生がいた。（複数人）
- ・審判員の開会式で並ぶ場所がわからない。 ・審判員の名札が試合中に落ちてしまい、試合の中断があった。

R6 新人戦 男女団体戦 反省 11月12日(火)

◎審判について

- ・位置取り ・有効打突については概ね良かった。 ・審判員が少なく大変
- ・副審の位置取りに課題 ・概ね良好だった。
- ・打突を捉えていない技に旗を上げている場面が多かった。
- ・返し胴、引き技に対する見極めが重かった。 ・掲示を必ず確認しながら試合運営をする。
- ・副審同士の連携がない→立ち位置にも問題 ・時間空費の見極め
- ・正しい鰐競り合いの見極め

◎試合について

- ・小手ひもが取れている生徒がいた。 ・礼を合わせない選手が多い。
- ・整列時に小手下をしている生徒がいる。
- ・水筒の飲む時は(代表者戦前)基本は、試合上の外で飲むことを徹底していく。
- ・不当な鰐迫り合いが多く見られる。 ・交代時のグータッチを指導しました。
- ・比較的レベルの高い内容だった。 ・面紐が長い選手、小手ひもがほどける選手がいた。

◎大会運営について

- ・開会式の審判員の整列をしっかりやってほしい。並んでいない先生が見受けられました。
- ・昼食をとる時間も審判員はとりにくかった。 ・高体連に手伝ってもらってもよい。
- ・人数が少ない中であつたが、審判員が監督で行ってしまい、人手不足になってしまった。
- ・不戦勝の表示がなく、マジックで書いた。

R6 新人戦 男女個人戦 反省 11月13日(水)

◎審判について

- ・有効打突の見極めも含めて良かった。 ・引き技を一本に出来ることが課題。特に引き面。
- ・自分の生徒の試合に行きたいという審判の先生がいらっしゃるが、できる限り審判協力をお願いしたい。
- ・副審の位置取りに課題→自分の見えやすい場所に移動しがち。
- ・後追いをしっかりとしたい。

◎試合について

- ・検量シールが貼られていない竹刀を使おうとした選手がいたが、試合開始前に防ぐことができた。
- ・赤旗が一度上がった。(鰐迫り合いの解消について)

◎大会運営について

- ・スーパーの見回り担当を役員で割り当てた方がよい。審判員は審判に専念にすべきである。

埼玉県県大会、監督・審判打ち合わせ事項

※本大会は、(財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」及び「(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項」・「埼玉県県大会、監督・審判打ち合わせ事項」「埼玉県中体連剣道専門部申し合わせ事項」に準じて行う。

1. 試合規則に関すること

- (1) 団体戦は、3分3本勝負、勝敗の決しない時は引き分けとする。
- (2) 個人戦は、3分3本勝負、勝敗の決しない時は、時間を区切って、勝敗の決するまで延長戦を行う。
- (3) 団体戦で、同勝者数、同本数になった場合は、任意の選手による代表者戦行う。

3分1本勝負。勝敗の決しない時は、延長戦を行う。延長戦は時間を区切って勝敗の決するまで行う。

【個人戦および団体戦代表戦での対応】(延長戦は2分ずつ区切る。)

試合時間3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止(深呼吸をする程度)】

⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【面を外しての休息・給水(5分)】

⇒ 試合の続く限り繰り返す

- (4) 開始線は、中心より140cmの位置とする。
- (5) 「反則」は、規則に準じ厳格に取る。特に「公正を害する行為」「鏑迫り合い」「故意の時間の空費」等は、しっかりと見極める。
- (6) 「場外反則」については、厳格にとる。(ただし、1打突、1体当たりを原則とし、相手を不当に押し出した場合については、しっかりと見極める。)
- (7) 「変形の構え」等の防御姿勢を取った場合は、合議の上1回目は「指導」、2回目以降は「公正を害する行為」として「反則」とする。
- (8) 「突き」及び「片手打ち」は有効としない。特に故意に仕掛けるような「突き」は、「公正を害する行為」として反則とする。
- (9) 上段は執らせない。(隻腕についてはその都度協議する。)
- (10) 「場外」「竹刀を落とす」以外の「反則」については、「合議」の上、「宣告」する。なお、「反則」を取る場合については、「反則」の内容を選手に説明した後、「宣告」を行う。
- (11) 竹刀の検定を実施する。
 - ・竹刀は、男女とも長さ114cm(約3尺7寸)以内。重さは男子440g以上・女子400g以上とする。
 - ・先革の太さは、男子25mm以上、女子24mm以上とする。長さは50mm以上とする。
 - ・鏑は皮革または化学製品のものとする。その大きさは直径9cm以下のものとし竹刀に固定する。色は茶色、または白とする。リバーシブル鏑については、茶色面を上に向けて使用することで、使用を認める。これら以外のものを使用した場合には、その場で指導し、替えさせる。弦の色の規定はありません。
- (12) 検定に合格した竹刀には、検量確認のテープを貼る。(埼玉県中体連剣道専門部申し合わせ事項参照)
- (13) 「不正な竹刀」を使用した場合、発覚した時点でその選手を失格(負け、相手に2本与える。既得権は無効。)とする。以後、その大会での出場はできない。「不正な竹刀」とは「検定で合格していない竹刀」、「ビニールやセロテープを巻いた竹刀」、「異物を挿入した竹刀」(異物とは先革のゴム、柄頭のチギリ鉄片一以外のすべてをいう。)※カーボン竹刀の使用は可。
- (14) 検定は、団体戦、個人戦別々に行う。

2. 試合運営に関すること

- (1) 審判員の服装は、紺色のブレザー、白のワイシャツ（カッターシャツも可、ボタンダウンは不可）、無地でグレーのスラックス（女子はグレーのスカートも可）、エンジのネクタイ、紺色の靴下とする。（ブレザーの着用については、審判長の指示とする。）また、ネクタイピンは見えないところに付ける。
監督・外部指導者の服装もこれに準ずる。
- (2) 選手・監督・競技役員（補助生徒も含む）以外は、試合場には入らない。
部活動指導員は、監督として試合場に入ることができる。外部指導者は、監督として試合場に入ることはいできない。※外部指導者席は各試合場に設けてあります。
※ただし、監督・引率者の特例として、日常、指導している顧問が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り「関東中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。外部指導者が引率・監督を務める場合は、大会事務局に参加申込書時に提出する。
- (3) 試合場への選手の入場の際、選手席後ろに整列し、**礼の後**、着座する。
退場の際も同様。選手は竹刀を、手に持って入退場する。
- (4) 団体戦で相互に礼をする時、開始時は先鋒・次鋒、終了時は大将のみ面、小手を着け、竹刀を持って横一列に並ぶ。**どちらかのチームまたは両チームが3名か4名の場合、両チームの中堅までの選手は面・小手を着用し、竹刀を持って始めの礼を行う。**先鋒が審判側に、中堅が中心点の位置に並ぶ。
- (5) 団体戦の礼の「開始」「終了」は1試合ごとに行う。
- (6) 試合の際、監督が着席したことを確認してから試合を開始する。
 - ・団体戦は、全試合。
 - ・個人戦は準々決勝（ベスト16）以上**※団体戦で監督は、チーム間の始めの礼の後、速やかに前列畳に移動し、選手を待たずに着座する。**
※団体戦で男女、個人戦で同一校から複数選手が同時に試合の場合は、予選母体の専門委員長、同地区で監督が依頼した顧問に、監督を代行してもらうことができる。
※個人戦で、試合が終了した監督は選手を待たずに速やかに下がり、選手の入替えをスムーズにする。
- (7) 正面への礼は第一試合の開始時、及び決勝戦の開始、終了時のみとする。選手は相互の礼だけとし、審判員や試合終了後の個人的座礼などは行わない。
- (8) 試合者は、審判員が移動し、所定の位置に着くまで、試合場に入ってはいけない。
- (9) 団体戦では、先鋒戦及び最後の試合者の対戦の場合、監督、選手ともに正座する。
個人戦においての監督も同じとする。
- (10) 選手・監督の試合場での位置は指定された位置とする。
- (11) 選手交代の際の余計な所作（胸突き、タッチ等）は禁止する。
- (12) 選手・監督のサイン・声援は禁止する。（違反の場合は、審判主任が指導する。）
- (13) 選手変更の場合は、前試合までに審判主任・試合場主任に申し出て、変更する。
- (14) 男子の更衣については、観客席・応援席等で行う、女子の更衣については、指定された場所で行う。
- (15) 練習は指定された場所で行う。
- (16) 審判合議の時は、選手は立ったまま納刀し、試合場内で蹲踞をして待つ。
- (17) 試合場への時計の持ち込みは禁止する。
- (18) 剣道具の着装は、面紐は結び目より40cm以内、小手紐はきちんと結ぶ。
- (19) サポーター等（足袋・テーピング（白・肌色）・コルセット等）の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。相手に危害を加えたり、公正さに欠けるものは使用しない。使用の際の「届け」は不要とする。
- (20) 目印については、幅5cm、長さ70cm以内のものを各校または個人で用意する。
- (21) 選手の布製の名札（垂れ名札）は、規定のものを着用する。着用していない場合は出場を認めない。
- (22) 面について、面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。ポリカーボネート面の使用は認める。アイガードも可。
- (23) 面乳革は、大きさ、色、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
（日本中体連申し合わせ事項による）

- (24) 選手が5人揃わない場合は、次のように登録する。
- ① 3人の場合は、先鋒・中堅・大将
- ② 4人の場合は、先鋒・中堅・副将・大将
- (25) 第一試合は、先鋒が9歩の間合いに立ち、全試合場が揃ったところで、審判長の合図（太鼓等）で礼をし、開始する。
- (26) 準決勝は4試合場で、アナウンスによって同時に開始する。
- (27) 決勝戦は、団体戦・個人戦ともに2試合場（男女同時）で行う。
- (28) 掲示の仕方について。

掲示要領

1. 掲示項目および掲示内容
- 主審の宣告により、下記の表示物を正確に掲示板に表示し、審判員・試合者ならびに観衆に試合経過が分かるようにする。

項 目	表 示 物	掲 示 内 容
有効打突	㊄ ㊂ ㊀ ㊃	㊄=面 ㊂=小手 ㊀=胴 ㊃=突き 有効打突の掲示の順序は右記第1図の大将戦のように掲示する。
反 則	▲	反則の場合は枠の上下両端の左側に「▲」（赤色）を掲示する。
反則2回	㊄	反則2回で反則「▲」を取り除き、「㊄」を相手側に掲示する。
相 殺		相殺の場合は相殺前の反則「▲」の掲示は残す。ただし記録用紙に相殺前の欄を設け、回数を記録する。
判定勝ち	㊄	判定勝ちの場合は「㊄」を掲示する。
抽選勝ち	㊄	抽選勝ちの場合は「㊄」を掲示する。
一本勝ち	一本勝	一方が1本取得し、試合時間が終了した場合は「1本勝」を掲示する。
延 長	延 長	延長戦の場合は枠の中心線の左側に「延長」を掲示する。
引き分け	×	引き分けの場合は枠の中心線の中央に「×」を掲示する。
不戦勝ち 棄 権 試合不能	○	不戦勝ち・棄権・試合不能および不当行為などで勝敗が決した場合は、勝者側に「○」を、延長戦の場合は「○」を掲示する。

2. 掲示方法
- (1) 団体試合での審判員名および団体名・選手編成ならびに表示物を掲示板に掲示する方法は第1図のとおりとする。

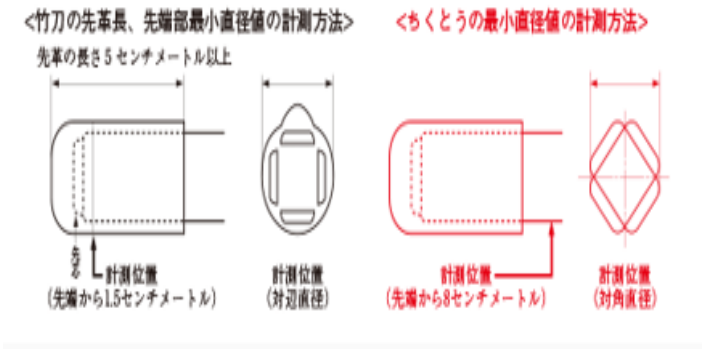
第1図 掲示板および掲示方法

区 分	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将	審 判 員	
団 体 名	選 手 名	選 手 名	選 手 名	選 手 名	選 手 名	主 審 名	
赤	㊄ 一本勝	延		㊄	▲ ㊄ ㊃	副 審 名	副 審 名
					1本目 3本目		
白		長 ㊄	○ ○	㊄ ×	㊂ ▲		
					2本目		
団 体 名	選 手 名	選 手 名	選 手 名	選 手 名	選 手 名		

- (2) 個人試合での掲示方法は、その大会で定められた方法で掲示する。

表1 竹刀の基準（一刀の場合）

	対 象	中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般
長さ	男女共通	114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下
重さ	男 性	440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上
	女 性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上



埼玉県中体連剣道専門部 申し合わせ事項

◎ オーダーミスによる措置について

① 試合開始前に発覚した場合は、正規のオーダーに改めさせ、特に罰則は与えない。

※ 試合開始とは、主審が「はじめ」の宣告をした時とする。

② 試合中に発覚した場合は、次のような措置をする。

● 表示が異なる選手が試合を行った場合は、該当する選手のポジションは、既得本数を認めず、相手に二本を与えて、負けとする。

※ 自らがまだ試合をしておらず、本来のポジションの試合が行われていなければ、本来のポジションで試合を行うことができる。

例Ⅰ．次鋒戦の最中に先鋒と中堅のオーダーミスに気がついた。

・先鋒、中堅ともに既得本数を認めず、相手に二本を与えて、負けとする。

例Ⅱ．次鋒戦の最中に先鋒と次鋒と副将のオーダーミスに気がついた。

・先鋒・次鋒すべて、既得本数を認めず、相手に二本を与えて負けとする。

・副将は正しいオーダーに変えて試合ができる。(先鋒・次鋒戦で出ていない場合)

③ 試合後に発覚した場合は、次のように措置する。

・試合後とは、団体戦では団体の礼、個人戦は、個人の礼を終了時とする。措置は②のとおりとする。

・ミスのあった選手は、当該試合以後（勝ち上がった場合）の出場を認める。（教育的配慮）

◎ 検定を通過した竹刀について

竹刀検定を通過した竹刀については、シールを貼る。(個人：緑 男子団体：青 女子団体：赤)
審判を行う際、シールが貼ってあるかを確認する。何もシールが貼られていない竹刀は不正竹刀とみなす。試合時に検定を通っていない竹刀とわかった場合、以下の通りの対応とする。

① 試合開始前にわかった場合

ただちに検量を通過した竹刀と交換する。
また、検量所で確認を受け、シールを貼ってもらう。

② 試合開始後にわかった場合

検定を通っていない竹刀を使用した試合者は、不戦敗となる。

※団体戦と個人戦に出場する選手は、それぞれの日に貼られたシールを剥がして、検定を受けること。

※不正竹刀の内容については、「埼玉県県大会、監督・審判打ち合わせ事項」の1. 試合規則に関すること(14)を参照。

◎ 試合での面紐・胴紐に関して

面紐・胴紐に関しては関東大会等で定められている規定に準ずる

* 令和元年度第44回関東中学校剣道大会参照

・特別規定 面紐・胴紐は紺色系か白色のみの使用を認める。 と定められている。

<継続事項>

○両者の検定シールを見極め、(約3秒程度、間をあけて)その後、「はじめ」の合図で試合を開始する。

○膝立ちで蹲踞する生徒の対応について → 膝立ちの状態から、「はじめ」の合図で試合を開始する。

◎面マスクかマウスガードを必ず着用をしての参加とする。

令和 7 年度（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項

申し合わせ事項は「剣道試合・審判規則第 1 条」に基づくものであり、規定外の事態は一般社会の常識で判断するものである。

【剣道試合・審判規則に関わる事項】

- 1 サポーター等（足袋、テーピング、コルセットを含む）の使用
 - （1） 医療上必要と認められた場合に限り使用を認める。使用する場合は各試合場に届け出た上で使用する。（成長過程における現状を把握するため）
 - （2） サポーターなどは、肘、膝などにつける物を足につけたり、ゴムや革及び滑り止めを底に張った物等の使用は禁止する。（相手に危害・公正さの観点から）
 - （3） 指先単独でのテーピングについては、届け出は不要とする。
 - （4） 届け出と違う物を使用した場合は、替えさせる。
- 2 面
 - （1） 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。
ただし、日常の稽古や練習試合での使用については特に制限を設けない。
- 3 竹 刀
 - （1） 平成 10 年 11 月 10 日付、全剣連指導指針「竹刀の先革先端最小直径値計測方法」による。
 - （2） 平成 31 年 4 月 1 日改正、全剣連剣道試合・審判運営要領「ちくとうの最小直径値の計測方法」による。
 - （3） 不正竹刀を使用した場合は、試合規則第 19 条 1、2、3 を適用する。ただし、予選リーグにおいては補員の起用は認めない。決勝トーナメント戦においては、次の試合から補員の起用を認める。
 - （4） 不正竹刀とは、「ビニールやセロテープを巻いた物」「異物（先革の芯、柄頭のチギリ以外の物）を混入した物」「検印のない物」を指す。
- 4 公正を害する行為
 - （1） 「変形な構え等の防御態勢」をとった場合は、1 回目は「合議」の上、「指導」、2 回目以降は「合議」の上、「反則」とする。
- 5 突 き 技
 - （1） 禁止として反則とすることもある。（技としては反則とする）
- 6 上 段
 - （1） 上段の構えはとらせない。隻腕についてはその都度協議する。
- 7 二 刀
 - （1） 使用させない。
- 8 片 手 打 ち
 - （1） 有効打突としない。
- 9 試 合 開 始
 - （1） 主審の「始め」の宣告で完全に立ち上がって開始させる。（不適切な場合は、指導する）
- 10 主 審 の 宣 告
 - （1） 反則の宣告が簡略化されたが、（公財）日本中体連剣道競技部では「第 3 章第 3 7 条」～特に宣告に際し必要を認めた場合は、その理由を述べる～を教育的配慮として適用する。

【試合運営に関わる事項】

- 1 試合者要領
 - （1） 団体戦では、先鋒戦及び最後の試合者の対戦の場合、監督、選手ともに正座する。
個人戦においての監督も同じとする。
- 2 華美への配慮
 - （1） 校名・校章等の刺繍（剣道着・袴）は、大きさ、色を含めて華美にならないように配慮する。
 - （2） 面乳革は、大きさ、色、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
 - （3） 柄革は、滑り止め（ゴム等）や模様等のない無地のもので、白色とする。
※ ただし、日常の稽古や練習試合での使用については、その限りではない。
※ 柄革の上端（折り返し部分）の色・模様については、特に制限を設けない。
※ 滑り止め（ゴム等）のついた柄革の使用は禁止する。

申し合わせ事項解説

「4 公正を害する行為」について

- ・ 「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合、1 回目は「合議」の上「指導」、2 回目以降は「合議」の上「反則」とする。

変形な構えについての共通理解事項（平成 24 年度作成）

- (1) 「変形な構え」とは
 - ・ 左拳を概ね目線より上にして、面・右小手・右胴を同時に防御する形をいう。
- (2) 「指導・反則」とならない場合
 - ・ 中段の構え等からの「応じ技」途中の姿勢
 - ・ 鏝競り合いや体当たりでの「身体的圧力」及び「攻め」による一瞬の崩れ
- (3) 見極めの留意事項
 - ・ 「変形な構え」に近い形が認められても左拳の高さが目線に達していない場合が多いので、左拳の位置を確認の基準にする。また、剣先（けんせん）が下がっているかどうかをよく見極める。
 - ・ 「変形な構え」で相手の打ちを待つ状態が確認された場合は、後から技が出て「応じ技」途中の姿勢とは判断しない。

【指導・反則の宣告方法】

◇ 主審が合議をかける（主審の専決事項）

- (1) 「指導」をとる場合

主審は選手を開始線に戻し「指導」をとる選手に近づき、審判旗を右手に持ち左手拳を明確に頭上（目の位置より高く）に上げ、「変形な構え」が認められたため「指導」をとることを説明する。次に定位置に戻り審判旗を一方に持ち、宣告を行う側の選手に対し、指を揃え手の平を内側にして、指先で概ね選手の前垂を指すように腕を上げ、「指導」と発声し宣告を行う。

- (2) 「反則」をとる場合

「指導」と同じ要領で「反則」をとることを説明する。次に主審は定位置に戻り、他の反則と同じ要領で、旗を斜め下方に上げ、「反則○回」と宣告する。

- (3) 確認事項

- ・ 1 回目は「合議」の上「指導」、2 回目以降は「合議」の上「反則」とする。

【掲示板への記入方法】

指 赤色地に白抜き文字「指」を掲示する。

「公正を害する変形な構え」の指導は1 回のみ。次からは反則となり、掲示板の

指 は残し、▲（反則）を新たに掲示していく。

【「変形な構え」を指導・反則事項とした理由】

生涯剣道のために大切な基礎基本を身につけなければならない中学生の時期に、防御の効率のみを優先して左拳を極端に身体の中心から外して防御に頼ることは、剣道の正しい修得を妨げるものである。剣道は一方を防御すれば一方に隙が生じ、打つときは打たれるときである。その緊張感と迷いを鍛錬と経験則による瞬時の判断で拭ききって勝負に出るところに醍醐味がある。

したがって、特に「突き技」を禁止している中学生の試合では、三カ所を同時に防御するという「変形な構え」は、左手が定まらないという見苦しさだけでなく、心の面でも剣道の良さを否定することにつながるものである。更には、いたずらに試合時間を引き延ばす結果にもなっている。

以上の理由により（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部では「変形な構え」を指導・反則とした。

「6 上 段」について

- ・ 上段の構えはとらせない。隻腕についてはその都度協議する。

隻腕についての共通理解事項（平成23年度作成）

各都道府県で、隻腕の競技者が確認された際は、速やかに専門委員長がブロック長へ報告するとともに、「構えが公正を害する行為」とならないよう指導する。

○ 「構えが公正を害する行為」となるとは

片手上段で面を防御するとともに、竹刀の鰐元を所持して柄で小手を防御し、一方の腕（小手・袖等）で胴を防御するなど、三カ所を同時に防御することをいう。

○ 指導する理由

- ・ 中学生には「突き技」を禁止している。
- ・ 中段の構えにおいても「面」「小手」「胴」を同時に防御する「変形な構え」をとった場合は「指導」「反則」の対象となる。
- ・ 公平性、平等性等を考慮し、下記の指導をする。

○ 指導内容

- ・ 竹刀の柄頭を所持し構えるよう指導する。
- ・ 「鰐競り合い」及び「打つ直前」の鰐元所持は良い。

※ 上記の指導は、大会直前では競技者の身体的精神的負担が大きいのので、極力早期に報告と指導を行い、監督や競技者が練習に生かせるよう配慮する。

令和7年度「重点指導事項」について（お願い）

令和6年度第54回全国中学校剣道大会の運営及び試合・審判についての反省と今まで引き継がれてきた課題から、次年度の宮崎大会に向けて「重点指導事項」を策定いたしました。

つきましては、各都道府県の大会や強化会・講習会等において、顧問及び地域クラブ代表者に周知徹底いただきますようお願いいたします。

記

1 申し合わせ事項についての徹底

- (1) 「申し合わせ事項」（別紙）についてのご理解とご協力、指導の徹底をお願いします。

用具・着装全般（文字等を含む）について従来の伝統的な色や形を安易に変える傾向が若干見られますが、極力「申し合わせ事項」には加えず、「指導」の形で対応します。規則に固執することなく「質実」という伝統文化の良さを積極的にご活用いただき、ご協力をお願いいたします。

2 礼法について

- (1) 蹲踞の「始め」と「終わり」を正確・丁寧に行う。
※ 「始め」は竹刀を抜きながら蹲踞し、**静止**する。
※ 「終わり」は納刀した後、右手を右太股においてから立ち上がる。
◇ 詳しくは、剣道指導要領P44、45参照
- (2) 団体の礼の前後や選手交替時における余計な所作は改める。
※ 円陣を組んでの発声やパフォーマンス、胴づき、握手など
※ 団体戦の選手入れ替えを速やかに行う。（個人戦も同様）
◇ 全日本剣道連盟剣道試合・審判運営要領「その他の要領」5項参照

3 その他

- (1) 危険かつ見苦しい暴力的行為は、厳に慎むようご指導ください。
- (2) 「安易に左拳を中心線から外す防御姿勢をとらせない」いわゆる「公正を害する変形な構え」について、今後も継続してご指導ください。
- (3) 「鏝競り合いの解消途中」で時間空費が目的と思われる打ちを継続する場面が見受けられます。反則行為としてご指導ください。
- (4) 面紐の長さは結び目から40センチメートル以下です。長いものが見受けられました。また結び目の位置が高過ぎる選手も見られました。面が外れたり、転倒時に後頭部を保護できなかったりする可能性があります。危険防止として適切な位置で結ぶよう、今後も継続してご指導ください。
◇ 剣道試合・審判・運営要領の手引きP25参照
- (5) 袴など華美にならぬようご指導ください。学校名（地域クラブ活動名）、校章等の刺繍やワッペン以外、剣道着の袖につけたり、入れたりしないようにしてください。袴の裾には刺繍やワッペンをつけないでください。
- (6) 試合者の名札は、生徒役員が判読しやすい字体にしてください。
- (7) 試合者が、試合中に中止要請をする場合、「タイム」と発声するようご指導ください。
- (8) 剣道着の袖についても危険防止の観点から肘が隠れる長さとし、縫い上げ等の加工をしないようご指導ください。
- (9) 「応援は拍手のみ」を各地区大会から周知徹底してください。

<次年度の全国中学校剣道大会競技規則>

（公財）全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則、同細則」及び令和7年度（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項による。更に、以下を含めた試合・審判の運営を行う。

- ① 「剣道試合・審判・運営要領の手引き」（令和6年9月1日改訂）
② 「令和7年度（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部審判員共通認識事項」

<本件に関する問い合わせ先>

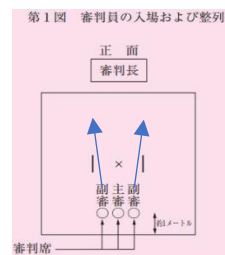
（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部長 山下 克久
勤務先：茨城県阿見町立竹来中学校
電話：029-887-1201

令和7年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部 審判員共通認識事項

1 (公財)日本中学校体育連盟剣道競技部 ブロック長会議より

(1) 令和6年9月9日に全日本剣道連盟試合・審判委員会から発出された「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法の今後の取扱い及び『剣道試合・審判・運営要領の手引き』の改訂について」

- つば(鏢)競り合い解消に至る時間は「一呼吸(3秒程度)」。
- つば(鏢)競り合いを解消する場合は双方がバラバラに下がるのではなく、正しい鏢競り合いから鏢と鏢で競り合う力を利用して積極的(一気)に解消する。
- つば(鏢)競り合い時の発声については、「指導」や「反則」とはしないが、鏢競り合いは互いが最も接近して緊迫した状態であることから、日頃の稽古や試合においては極力発声しないよう指導する。
- 審判員の移動・交替要領・団体試合の整列方法に関しては、「暫定的試合審判法」実施以前に戻す。「剣道試合・審判・運営要領の手引き」p15 図の通りとする。
- マスクの着用について
 - 【選手】 ・面をつけている時・面マスクまたはシールドを着用する。
 - ・面をつけていない時・個人の判断とする。
 - ※着用していない場合は試合を中断して着用させ、試合を再開する。
 - 【審判員】 ・マスクは着用しない。ただし控え席でのマスク着用は個人の判断とする。



(2) 一気に下がる指導と反則について

- つば(鏢)競り合いの分かれ方は今まで通り。一気に下がることを指導していくが、それができていない場合、直ちに反則にはならない。ただし、再三繰り返されたり、お互いに気持ちを合わせて分かれなかったりした場合は反則が適用されることもある。

(3) 団体戦の代表者戦、個人戦での延長戦について

- 延長戦は2分ずつ区切って行う。
 - ・試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止(深呼吸をする程度)】
 - ⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩(面を外して給水)】
 - ※上記を繰り返す。
- 【小休止】 ⇒ 開始線の位置で10秒程度の深呼吸。
- 【休憩】 ⇒ 立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所(※1)で水分補給を行う。試合再開までの時間は5分とする。(※2) その際、監督は選手に指示をしない。
- ※1…給水場所については、会場の状況や使用上のルールに応じて決める。
- ※2…計時については、試合場主任もしくは時計係が所定の場所で計測する。

<審判員の所作>

- 【小休止】 審判員は試合者に「その場で深呼吸しましょう」と促す。
- 【休憩】 左手に審判旗を持ち、右手を右斜め下方に伸ばし、手の平を下に向け「休憩」と宣告する。

(4) 裏交差について

- つば(鏢)競り合いの際、裏交差になっている場合は、正しいつば(鏢)競り合い(表交差)に戻してから、或いは戻しながら解消する。再三繰り返したり、意図的な行為と判断されたりした場合は、合議の上、反則を適用する。
- 裏交差のままで分かれると直ちに反則になるものではなく、意図的に裏交差にする場合や、一方が表に戻そうとするとを合わせずに分かれる場合などを繰り返し、明らかに公明正大に試合をしていない場合について反則の対象とする。

2 審判員共通認識事項

(1) つば(鏑)競り合いについて

○ つば(鏑)競り合いの定義

「剣道試合・審判・運営要領の手引き」 P9 三「規則の解釈と運用」 2「つば(鏑)競り合いについて」

つば(鏑)競り合いは、鏑と鏑とが競り合って互いが最も接近して緊迫した状態である。つば(鏑)競り合いは攻防や打突行動の中から発生した相対関係である。

○ 「剣道試合・審判・運営要領の手引き」三 2 P10～11 より

- ・ 終始、拳が相手の刃部にかかっているような場合は、明らかに不当なつば(鏑)競り合いである。
- ・ 暴力的であったり、意図的なひっかけ(ひっかけることを目的にする)だったり、一般的に見て異常な行為であれば、禁止行為に該当する。
- ・ 膠着や不当なつば(鏑)競り合いに関する処置は、試合の運営にかかわる主審の専決権限の事項である。したがって、副審は「止め」を宣告することができない。

(2) 「一呼吸(3秒程度)」について

- 目安の根拠・成人安静時の1分間の呼吸数は約12回から20回とされていることを参考に「一呼吸÷およそ3秒」となった。

(3) 「一呼吸(3秒程度)」で分かれることができなかった場合の審判員の対応について

- 剣道試合・審判規則第1条に則り、公明正大に試合ができていないと判断した場合は反則となる。
- 一気に下がる部分は指導していくが、気持ちを合わせて下がっていれば反則とはしない。
- ゆっくり下がって故意に時間をかせいだり、相手と気持ちを合わせずに分かれる、または相手を一方的に下がらせたりするなどの行為は、第1条に照らして反則とする。
- 「一気に」というのは、必ずしも1歩ではない。一呼吸(目安としておよそ3秒)の間で2～3歩かけて間を切ることもあり得る。
 - ※ 正しいつば(鏑)迫り合いと分かれ方について、指導者・選手に指導していくことが重要である。
 - ※ 再三(2～3回程度)繰り返したり、意図的な行為と判断されたりした場合は、合議の上、目的と現象を見極めて反則を適用する。

(4) つば(鏑)競り合い開始の起点と解消の見極めについて

「剣道試合・審判・運営要領の手引き」 P31 事例 5

- 鏑競り合いは鏑と鏑が競り合っている状態であるが、近間での攻防が尽き、鏑競り合いにならずとも相互に接近した状態から鏑競り合いの開始時点とする。
- 相互の剣先が完全に離れる(直ちに打突できない間合で相互に中段の構えをとる)まで積極的(一気に)解消しているか注視する。

(5) つば(鏑)競り合いの解消途上の見極めについて

「剣道試合・審判・運営要領の手引き」 P33 事例 8

- 正しい鏑競り合いから鏑と鏑で競り合う力を利用して積極的(一気に)解消しているか、年齢や錬度を考慮し審判員は総合的に判断する。
- 解消途中に不当な行為がないか。
 - ・ 下がると見せかけて打突する行為。 ・ 竹刀を意識的に肩に掛ける行為。
 - ・ 竹刀を払う、巻く、抑え込む、ひっかける行為。 ・ 竹刀を開く、下げる行為。
 - ・ 故意に体を反らせたり、曲げたりする行為。 ・ その他、不当と思われる行為。明らかに解消途上に不当な行為がある場合は、合議の上「反則」を適用する。微妙な場合は2回、3回と続けば合議の上、判断する。
- 解消の際に一本先取された試合者が早く勝手に下がったり、逆に先取した試合者はなるべく時間を掛けて分かれたりするような場面が見受けられる。一般的に先取した方の選手を時間空費の反則にとる傾向が見受けられるが、目的と現象をよく見極めて総合的に判断する。

(6) 公明正大に試合ができていないと判断される攻防について

- 意図的な時間空費や防御姿勢(勝負の回避)による相手に接近するような行為は、規則第1条に則り反則を適用する。審判員は以下のような場面を見逃さず、「公明正大に試合を展開する」ことを優先させ、選手達が正しい試合、正しい剣道ができるよう厳正に判断する。
 - ・ 「変形な構え」となるまで左拳は挙げていないものの、巧妙に防御姿勢(勝負の回避)をとって相手に接近したり、意図的に時間空費を行ったりする。
 - ・ 時間空費が目的と思われる打突を繰り返す。
- 明らかに意図的な行為であれば即座に反則とする。
- 意図的な行為とは断定できないものの、疑わしい行為が再三繰り返されれば反則とする。

(7) 分かれの宣告について

- 膠着した場合は「分かれ」をかける。「分かれ」をかける場合は正しい「つば(鐔)競り合い」を行っている事が前提である。基本的に膠着がみられる場面はごく限られているため「分かれ」の多発にならないようにする。また、安易に両者反則としない。

(8) 合議について

- 合議の最中にジェスチャーは行わない。口頭で合議を行う。
- 合議は相談ではなく、確認である。短時間で行う。

(9) 合議後の説明から反則の宣告までの流れについて

- **合議後、主審は定位置には戻らず、その場で選手を待つ。**選手が開始線に出てきて構え直したら近付いて説明を行う。その後、定位置に戻り、旗表示をした後、反則を宣告する。

(10) 反則を適用する際、反則名は宣告するのだろうか

- **選手に説明をしたうえで「反則1回」と宣告**する。(反則内容は監督にも聞こえるように説明する。)

(11) 「押し出しの反則」なのか「場外反則」なのかの見極めについて

「剣道試合・審判・運営要領の手引き」 P26 〈主な事例の解説〉

〈事例5〉体当たりと押し出しとを区別する判断の基準はあるか。

- ① 打突後の体当たりや相手を崩して打突するなど、打突に結びつく行為でなければ不当な押し出しになる。
- ② 打突の意志がなく、押し出す目的であったのか否かを見極める。
- ③ 堪えられる程度の接触なのか否かを見極める。

(12) 竹刀を落とした場合の判断について

- 竹刀を落とした者の「反則」とする。ただし、故意に相手の竹刀を落とすことを目的とした行為(何度も竹刀をたたき、竹刀をひっかける等)であれば、公正を害する行為として、その行為を行なった者の「反則」とする。

「剣道試合・審判・運営要領の手引き」 P25 〈主な事例の解説〉

〈事例3〉一方が自分の竹刀で相手の竹刀を強く叩いて落とした。強く叩いた側が反則になるか、それとも落としてしまった側が反則になるか。

- ① 攻防の中で叩いたのであれば不当な行為にはならない。落とした側を反則にする。
- ② 強く叩いた行為が見苦しい場合は、第1条の本規則の目的に照らして反則にする。

(13) 変形な構えに対する左小手への打突について

- 有効打突の要件・要素を満たしていれば1本となる。

(14) 倒れたとき、うつ伏せ等による相手の攻撃に対応する意志が見られない行為は、反則を適用する。

「全日本剣道連盟剣道試合・審判規則」 P11 細則 第16条5

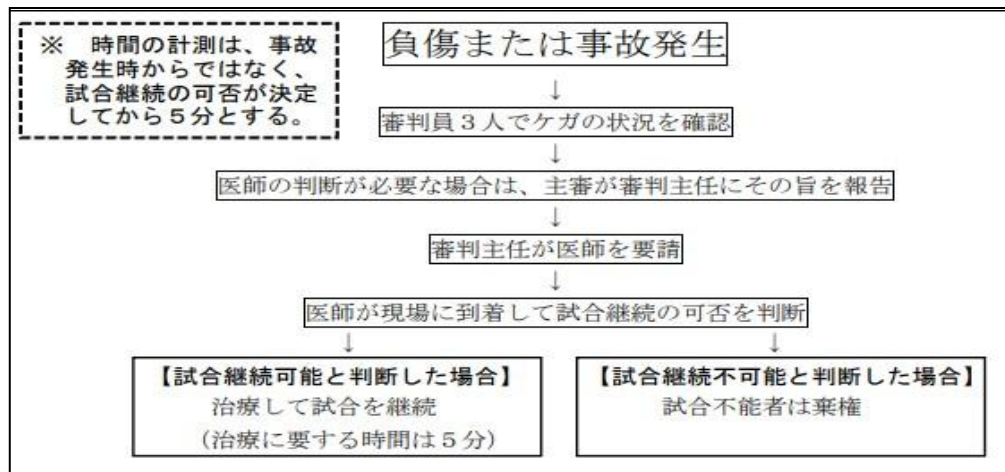
(15) 片手を放しての防御姿勢について

- ・ 返し胴を打突した後など、後打ちを避けるために右手で竹刀を持ち、竹刀および右手・右腕で面、柄部で小手、左腕で胴を隠して防御する行為。
 - ・ 身体接触等で崩されて片手が竹刀から離れた際、同様な形で相手の打突を避けようとする行為。等
- 一瞬ではなく一定時間以上その姿勢を取った場合、原因と現象を見極めて反則を適用する。

(16) 負傷または事故発生時の対応について

※(公財)全日本剣道連盟剣道試合審判規則・規則第2節「審判の処置」による。

① 試合者が負傷などした場合は、次の要領で処置をする。



② 審判員は、試合継続の可否判断が下されるまで試合場内に留まる。

③ 相手選手については、そのときの状況により、審判主任の判断で対応する。待機中、監督からの指導は認めない。

④ 試合継続の可否判断が下された後の審判員の動きについては、試合者に準ずる。

【試合継続不可能】についての補足

相手の反則行為により不可能となった場合は、反則行為をした者が失格となる場合もある。

(17) 異議の申し立てについて

「全日本剣道連盟剣道試合・審判規則」 P22 規則

第35条 何人も、審判員の判定に対し、異議の申し立てをすることができない。

第36条 監督は、この規則の実施に関して疑義があるときは、その試合者の試合終了までに、審判主任または審判長に対して、異議を申し立てることができる。

○ 規則の実施に関して、監督自身の理解が不十分な場合や、選手を一旦落ち着かせるような意図などで異議の申し立てが行われる疑いがある時などは、審判主任や審判長は毅然と対処する。

(18) 「公正を害する行為」と「時間空費」の見極めについて

○ 時間空費を目的として公正を害する行為を行うことも考えられるため、総合的に判断する。

○ 公正を害する行為

- ・ 意図的に表から裏交差にする行為
- ・ 分かれる際に不要な動き(おさえる、巻く、逆交差にする、肩にかけて分かれるなど)をする行為

○ 時間空費

- ・ 意図的にゆっくり下がる。または、相手を下がらせる行為
- ・ 勝負の回避、手元をあげて相手に接近する行為

※ 審判3名の中で、2名は時間空費、1名は公正を害する行為というように判定が割れる場合もある。

(19) 主審の専決事項と副審からの合議について

- 「剣道試合・審判規則・同細則」 P18 規則 第 2 章審判 第 1 節審判事項 および「剣道試合・審判・運営要領の手引き」 P8「合議」
- 「剣道試合・審判規則 同細則」 P16 規則 第 24 条③「副審は…運営上主審の補佐をする。なお、緊急のときは、試合中止の表示を宣告することができる。」
 - ・ 不当な「つば(鏝)競り合い」および意図的な「時間空費」や「防御姿勢による接近する行為」以外で、危険・違法・不当な行為があったとき。(場外に出たか出ていないか、竹刀を離し操作不能になった、相手の竹刀を握った、刃部を握ったなど、見落としや見誤りがあった場合など。)
- 一方の試合者が不利益を被るようなことはあってはならない。暫定的な試合審判法に関する判定について、誰が主審になっても主審の専決事項を適切に判断できるよう、数多くの研修の機会を設けていきたい。
- ※ 審判研修の一環として、暫定的な試合審判法に関する共通理解を十分に図るために、地区大会や県大会において、副審からの合議を認める形で実施することがあるかもしれない。その際は、上記に示した主審の専決事項や副審の任務についての共通理解を図った上で実施する。

(20) 審判旗の巻き方について

- 審判旗の巻き方(縦巻きか横巻きか)は、大会ごとの申し合わせ事項により決定する。

(21) 「変形な構え等の防御姿勢」について

- 「変形な構え」で微妙な場合は複数回見ること。明らかな場合は即指導をとる。左拳の位置、剣先(けんせん)の下がり具合が判断基準となるが、微妙な形を繰り返す場合、合議を掛けて確認をする。
- ※ 変形な構えによる防御姿勢で相手に接近するなど、意図的に勝負を回避する行為は、反則を適用する。

(22) 試合開始時の蹲踞・「始め」の宣告について

- 正しい蹲踞、竹刀と目印をきちんと確認してから「始め」の宣告を行う。
- 開始線で蹲踞もしくは構えた状態で、選手の竹刀や体が動いている場合はきちんと静止させる。
 - ・ この徹底により、試合者が正しく構えて打突動作に入ることができる。構えが成立する前に打突動作に入った場合は、ただちに主審は「止め」を宣告する。もし、打突が当たったとしても有効打突として認めない。その後、試合者に指導したうえで再度「始め」を宣告する。このとき、試合者に再び蹲踞をさせる必要はない。
- 終了時は、蹲踞の姿勢で納刀し、右手を太ももに置いてから立ち上がる。正しい動作が行えない場合はその場で指導し、やり直させる。
- 膝の怪我などで正しい蹲踞ができない場合の対応について
 - ・ 試合が始まる前までに、監督が各試合場の審判主任に申し出る。
 - ・ 審判主任は当該試合の審判員と対戦校の監督にその旨を伝える。

(23) 団体戦における先鋒戦の開始の宣告について

- 大会運営をスムーズに行うため、監督が畳に座ったことを確認してから「始め」の宣告を行う。
 - ・ 監督は、チーム間の始めの礼の後、速やかに前列畳に移動し、選手を待たずに着座する。
 - ・ 選手は、前の試合のチーム間の終わりの礼の後、直ちに2列目の畳から立礼の位置へ移動し、チーム間の始めの礼を行う。面・小手・竹刀の移動は、チーム間の礼が終わった後に行う。

(24) 団体戦で、どちらかのチームまたは両チームが3名か4名の場合の始めの礼について

- 両チームの中堅までの選手は面・小手を着用し、竹刀を持って始めの礼を行う。

【本件に関する問い合わせ先】

(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部長

阿見町立竹来中学校 校長 山下 克久

TEL 029-887-1201

FAX 029-888-2497

Mail yamakatu.4266@gmail.com

※原則、各地区ブロック長や各県専門部長を通してご連絡ください。

(公財) 日本中学校体育連盟

剣道競技部 各ブロック長 様

各都道府県剣道専門委員長(部長) 様

各中学校剣道部顧問 様

各地域クラブ活動代表者 様

(公財) 日本中学校体育連盟

剣道競技部長 山下 克久

(公印省略)

剣道部活動における適切な指導について(通知)

秋冷の候、貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、(公財) 日本中学校体育連盟剣道競技部に格別のご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、(公財) 日本中学校体育連盟剣道競技部では、昨年10月2日付けで「剣道部活動における適切な指導について」の通知を出したところです。

つきましては、改めて下記について、関係の皆様にご確認いただき、全国の各中学校および中体連加盟の地域クラブ活動において、適切な指導が実施されますようお願いいたします。

記

(1) 人格や人権、自主性の尊重

部員の人格を否定したり、人権を侵害したりする体罰や暴言は、部員や保護者との信頼関係を著しく損ない、重大な問題へと発展してしまいます。部員一人一人の個性を尊重し、「剣道の稽古を通して人を育てる」ことを心がけてください。

(2) 発達段階を考慮した稽古

部員の発育・発達段階によって、目的、頻度、運動強度、持続時間、稽古の種類などを組み立てることが大切です。これらを見ないで稽古やトレーニングは、障害や意欲低下を招くおそれがあります。生涯にわたって剣道を愛好していけるよう、適切な指導を心がけてください。

(3) 勝利至上主義に陥らない

多くの部員が「勝利」を目指し、指導者も同じ気持ちで指導にあたります。勝つために努力することを通して、成長できる要素はありますが、「手段を選ばず、ただ勝てばよい」という考えが先行し、指導者の要求レベルが高過ぎると、部員を追い込み、体罰や暴言といったトラブルが発生することも懸念されます。指導者と部員と保護者が三位一体となって、チーム目標や個人目標を確認・尊重して、将来的な人格の形成を見据えて指導にあたるよう心がけてください。

※ 以上、部員が日常の稽古や試合を通して、心と体のバランスを保ちつつ、「剣道を続けて良かった」と感謝できる環境づくりを是非ともお願いいたします。

学校部活動剣道指導の方向性と課題

(公財) 日本中学校体育連盟剣道競技部長 山下 克久

1 方向性

日本中体連剣道競技部では、中学生が最大の目標とする全国大会において、「申し合わせ事項」を策定し、各ブロック大会や各都道府県大会、更には各都道府県内の地区大会でも、同一歩調で運用していけるよう努めています。

この「申し合わせ事項」は発達段階を考慮したグランドルールであり、生涯剣道の基礎を正しく学ぶために定めたものです。しかしながら、ブロック大会や都道府県大会に浸透させることは、日頃の指導の積み重ねによる点が大きく、容易なことではありません。

そこで、毎年全国大会終了後に、ブロック長会議や審判会議・審判講習会で出た課題や成果を集約し、「申し合わせ事項」に係る解説を追加したり、努力事項をより焦点化した「重点指導事項」を作成したりして、各都道府県の競技委員長（部長）を通じて、各校の顧問が日常の指導の中で生かせるよう配慮しています。

また、毎年勝浦で開催されている全国高等学校・中学校剣道（部活動）指導者研修会（今年度は10月12日（土）～14日（月）実施）の折にも取り上げています。

2 解決に向かっている課題

- (1) 礼法の中の正しい蹲踞に関する事項（剣道指導要領 P44. 45）
※ただし、納刀時の所作については再度徹底が必要
- (2) 剣道着・袴・剣道具・竹刀・鰐などの用具全般の華美に関する事項
- (3) 試合中の「かち上げ」「振り倒し」等危険行為に関する事項

3 現在継続指導中の課題

- (1) 団体の礼の前後や選手交替時における余計な所作に関する事項
（スムーズな選手の入替えと円陣を組んでの発声やパフォーマンス・胴づき等）
- (2) 試合前者と後者のスムーズな入替えに関する事項
- (3) 面紐の長さと結び目の位置、剣道着の袖の長さに関する事項
- (4) 接近した状態での時間空費に関する事項（3秒程度の解釈等）
- (5) 公正を害する行為「変形な構え」に関する事項
- (6) 「応援は拍手のみ」の徹底に関する事項
- (7) 適切な指導（体罰暴言等）に関する事項（通知）
- (8) 竹刀の安全に関する事項（通知）

※ 以上の課題については、「1 方向性」で述べたような順序で各ブロックや各都道府県への浸透を図ってきました。今後も同じ流れで課題解決に努め、審判会議・講習会、監督者会議、調査等でも常に課題として取り上げていきます。

ブロック長反省（第54回新潟大会） ○よかった点 ●改善・検討点

1 日程について（大会日程・諸会議）

- 部門ごとの一日完結型（一日ごとに終了させる形）でよかった。今後も続けるべきである。
- メインとサブの両方を使ってアップができたことがよかった。
- 開始時間を早めることで終了時間を早められると感じた。
 - ・ アップ終了時間を周知しておく必要あり。
 - ・ 最終日の終了がもう少し繰り上げられると良い。

2 大会会場・運営について

- 細部に渡り、適切かつ丁寧な運営でした。 ○ 各担当が責任を持って自分の役割を果たしていた。
- トラブルにはその都度修正して対応し、ケガ等にも迅速かつ丁寧に対応していた。
- 応援についての注意喚起を場内放送に加え、生徒係員のプラカード表示によってかなり抑制された。
- 会場の広さの関係で仕方ないと思うが、次試合の選手の待機場所が審判員にとっても近かった。また、試合が終わった選手が会場内に残ってしまい雑然とした状況があった。
- 予選リーグから決勝トーナメント開始まで1時間ほどかかっているの、時間短縮のためインターハイと同じ形（予選からフリー抽選）にしてもいいのではないかな。
- 女子個人が長引いたため、終了した会場から男子個人を開始することにした。今回は事前に周知していなかったため、選手も慌てた面があった。今後も長引くことを想定して、会場ごとに男子をスタートさせることを通知していてもいいのではないかな。
- 個人戦の準々決勝は、女子の試合が終了した会場から続けて男子を開始した方が選手にとってもいいし、時間のロスがない。
- 監督に早く座ることや退場の件について周知が必要。

3 式典関係（開・閉会式）について

- 適切でした。簡素化の中に、厳粛な式典でよかった。 ○ 大変な業務お疲れ様でした。
- 急な変更にも生徒のために快く対応していただき感謝いたします。（優勝旗を渡すことができてよかった。カップも渡せるとよかった。）
- 入場行進が適切であり、シンプルな表彰式でよかった。
- 選手招集から開会式までが長く感じました。 ● 入場した際の先頭の位置が、雛壇から近すぎた。
- 表彰式の授与の際、選手と授与者の距離が近すぎた。
- 開会式前に選手・監督が待機している時間に、諸注意を放送伝達すると良い。

4 審判（審判会議・審判講習会・審判技術等）について

- 丁寧に確認できたと思います。
- 講習会では審判の共通認識事項に沿って細かいところまで打ち合わせできた。
- 講習会で全員が主審を経験できたことはよかった。
- 有効打突について十分なすり合わせができていた。
- 実技講習をもっと短時間で言う工夫が必要。
- 実戦に近い事例（反則の場面など）になるような場面があるとよかった。
- 反則に関しては、地域差を感じた。六段以上で経験を積ませるべきだと感じた。
- 初日の女子団体では、引き技等で旗が重い状況が見られた。
- 共通認識事項の再確認が必要。
 - ・ 竹刀の中結いが緩んだ時などは交換させる。
 - ・ 合議中はジェスチャーは行わず、選手への説明の際にジェスチャーをする。
 - ・ 合議の後は定位置に戻らず選手に説明を行ってから戻る。
 - ・ 「変形の構え」の指導なのか、時間空費等の「勝負の回避」なのか曖昧である。
 - ・ 入退場の移動は足を揃え、礼のタイミングを揃える。

5 宿舍・輸送について

- タクシーなど細かい点まで配慮が行き届き素晴らしかった。
- 大会会場までの距離も妥当であった。 ○ 大変立派な宿舍でありがたかった。
- 朝食が6時からにできないかな。

6 その他

- 先生方をはじめ、生徒たちの親切かつ献身的な姿に感動した。
- ID を持たない人が入場していた。大人のモラルが問われる。
- 水分補給（水筒保管）ブースがあると良い。

※ 事務局をはじめ、地元の皆様のこれまでの取り組みに心から感謝いたします。お疲れ様でした。

各大会審判員選出について

○県大会について

- 1 人 数 学 総 体 団体戦 80 名以上
個人戦 80 名以上
新人兼県民 団体戦 80 名以上
個人戦 80 名以上
- 2 審判員段位 四段以上
- 3 選 出 方 法 年度初めに、各地区(東・西・南・北・さいたま市)より選出

◎選出手順：予選地区専門委員長 → 各地区副委員長 → 審判部長 の順で報告
※県大会代表者会議で選地区専門委員長が審判部長に報告（競技役員と同一の用紙）

- 4 選 出 人 数 東部 16 名以上 西部 16 名以上 南部 16 名以上
北部 16 名以上 さいたま市 16 名以上
- 5 そ の 他 選出された審判員の先生方には、原則として四大会の審判をお願いする。

○関東大会について

- 1 日時場所 8 月 日 日：東京都 (8 月 日審判会議)
- 2 人 数 9 名選出 (8 試合場)
- 2 審判員段位 6・7 段を中心に
- 3 選 出 方 法 学総体終了後、審判部より指名する。
- 4 そ の 他 埼玉関東の場合は中体連より 9 名・高体連より 8 名
全国大会については、関東中体連剣道専門部の規定による。

○その他の大会について

1 道場連盟の大会

- ・審判部より大会会場等を考慮して依頼。
- ・大会日時、派遣人員等

- | | | | | |
|------------------------|------------|-------------|-----|-------|
| ①埼玉県道場少年剣道大会 (団体) | 5 / 24 (土) | 戸田市スポーツセンター | 8 名 | 5 段以上 |
| ②埼玉県道場小中学生剣道選手権大会 (個人) | 6 / 29 (土) | 吉見町民体育館 | 4 名 | 5 段以上 |
| ③埼玉県道場対抗剣道大会 (団体) | 7 / 5 (土) | 解脱錬心館 | 6 名 | 6 段以上 |

2 大学剣道連盟の大会

- | | | | | |
|-------------|------------|----|-----|-------|
| ・大会日時、派遣人員等 | 6 / 29 (日) | 大学 | 8 名 | 4 段以上 |
| | 12 / 7 (日) | 大学 | 8 名 | 4 段以上 |

3 その他の大会

- ・審判依頼があった場合については、協力する。

審判実技講習会実施計画

○審判実技講習会

- 1 日 時 令和7年4月12日（土）
- 2 会 場 スポーツ総合センター（上尾市）
- 3 対象者 県大会審判員及び各中学校剣道部顧問
- 4 内 容 （1） 審判技能向上に関する講義及び審判実技研修
（2） 剣道実技講習（稽古会）
（3） そ の 他

○その他の講習会について

- 1 各地区での審判実技講習会実施のお願い
 - ・ 地区ごとに、1年生大会や地区大会、練習試合等で審判実技講習会を年数回実施。
 - ・ 講師については、審判部に依頼も可能。
- 2 埼玉県剣道連盟主催の四地区講習会への参加
 - ・ 年4回各地区（東西南北）で開催されている講習会への積極的な参加を。
 - ・ 講習会の内容は、審判講習会または指導法講習会。
※31年度の開催予定・講習内容等は、埼玉県剣道連盟のホームページで確認
- 3 埼玉県学校剣道連盟指導者講習会への参加
 - ・ 日 時 令和7年12月 日（土）
 - ・ 会 場
 - ・ 対象者 県内各中学校・高等学校剣道部顧問
 - ・ 内 容 （1） 指導方法に関する講習（剣道形・木刀による基本技稽古法等）
（2） 剣道実技講習（稽古会）
（3） そ の 他

埼玉県中学校体育連盟剣道専門部
令和7年度当初 県大会審判員報告用紙

地区名	東・西・南・北・さいたま市	予選地区名	
-----	---------------	-------	--

予選地区専門委員長名(学校名)	()
-----------------	-----

	氏 名	学校名	段位	県大会で主審が行える 先生に可と記載	性別
1					男・女
2					男・女
3					男・女
4					男・女
5					男・女
6					男・女
7					男・女
8					男・女
9					男・女
10					男・女
11					男・女
12					男・女
13					男・女
14					男・女
15					男・女

※4段以上の先生方の選出をお願いいたします。

※各予選地区の専門委員長→審判部・三摩（朝霞市立朝霞第一中学校 FAX:048-467-4741）

※各予選地区専門委員長は、5月23日(金)までに審判部・三摩に報告して下さい。

《令和7年度 県中体連剣道専門部 会計について》①

①県中体連より（※金額はR7年度予定）

学総体県大会	545,000 円
新人県大会	360,000 円
各会議費、講習会	各 30,000～50,000 円
強化費	141,650 円

②埼玉県剣道連盟より

県民総体（新人大会）個人戦	390,000 円
---------------	-----------

以下は埼剣連行事として専門部会計とは別になっています。

- ・夏季ジュニア強化合宿
- ・都道府県対抗
- ・冬季中高強化
(担当 強化対策委員会)

《旅費について》

基本的に、役員（生徒引率がない場合）は剣道専門部から旅費を支給します。その際、旅行命令簿の別途負担の欄に ☐ を記入してください。印鑑忘れが増えており、会計処理に支障が出ています。県中体連会計規定により、印鑑がないと支給が出来ませんので、必ずご持参ください。

《支払いについて》

金額が大きい場合には、会計部に予めご一報ください。事前に見積もりがわかっている場合は、できるだけ事前にお金をお渡ししたいと思います。やむを得ず立て替えていただく場合は、後日領収書を会計までお願いします。領収書の宛名をどうするかは必ず御相談ください。

《会計部組織について》

今年度同様、【東 西 南 北 さいたま市】より1人ずつ強化会担当を置き、各支部の担当強化会の会計を行います。

《県大会プログラムについて》

登録選手には1冊400円での廉価頒布。一般販売（600円）も行います。登録選手数の購入を必ずお願いします。

- ・学校総合体育大会プログラム（団体・個人 合冊）
- ・新人体育大会**専門部**プログラム（団体・個人 合冊）
- ・新人体育大会**剣連**プログラム（個人戦選手に1冊ずつ無料配布）*販売なし

《大会・埼玉県強化錬成会でのお弁当について》

販売価格は1つ（お茶付）800円を予定しています。大会、錬成会当日の受付時に注文を受け付けます。錬成会の参加申込みに記入された個数は必ず購入ください。

令和7年度 記録報道部 専門委員長会議 資料

埼玉県中体連剣道専門部 記録報道部

①記録報道部の活動内容

(1)公式戦の記録報道について

- ・HP での大会案内、代表者会議資料、大会速報、大会結果の集約ならびに HP へのアップ
→結果の掲載は段階的に交流大会で使用しているブログまたは別サイトへ移行する予定です。
- ・代表者会議にて組み合わせのプロジェクター投影・作成
- ・試合記録用紙の作成・保管
- ・関係各所への試合結果・記録等の送付
- ・関東大会・全国大会の埼玉県選手団の結果を関係各所への送付

(2)専門部の諸連絡に関する報道

- ・専門委員長会議の資料や各種派遣文書の専門部専用ページへの掲載
- ・各種のお知らせ(稽古会や講習会)の HP 上での告知

(3)練成会の開催、中止案内等の各種情報を HP 上で提供

大会・講習会・練成会等に関する注意事項や中止連絡はHP上で行いますので定期的にご確認ください

②令和7年度の予定

(1)各種強化練成大会の WEB 申し込み

交流大会記録・申し込み URL

<https://ameblo.jp/saitama-chuutairen-kendo/entrylist.html> →

※令和5年度～ 引き続きのものになります。



管理用アカウント (Google)

ユーザー名 : saitama.jhs.kendo.rensei

パスワード : <強化対策事務局長より各担当に伝達します>

メールアドレス : saitama.jhs.kendo.rensei@gmail.com

ホームページ上に掲載してほしい内容がある場合は、以下にご送付ください

さいたま市立 大砂土 中学校 高信 宛 メール…hk30drft@gmail.com FAX…048-684-8966

令和7年度埼玉県中体連剣道専門部 5月13日(火) 専門委員長会議資料 強化対策委員会



強化対策委員長 松田 昂也(春日部市立大沼中学校)

令和7年度 実施計画

都道府県選手選考会運営について

場所：久喜市立鷺宮中学校 令和7年3月2日(日) 4月20日(日) ※2回実施

- ・令和6～7年度強化指定選手(男女各10名)を対象に選考会を実施。
- ・男女各リーグを2つに分け実施。
- 今回から指定選手の強化を目的とした錬成会として実施する。
- 中学校会場で行い、選手への旅費・昼食を支給しない形で実施。

埼玉県中学生剣道交流大会運営について

全5回予定 変更の可能性あり

- 4月19日(土)：第1回 毎日興業アリーナ久喜体育館
- 6月7日(土)：第2回 サイデン化学アリーナ
- 9月23日(祝・火)：第3回 熊谷スポーツ文化公園 くまがやドーム体育館
- 1月11日(日)：第4回 吉川市総合体育館
- 2月28日(土)：第5回 狭山市民総合体育館

- 【交流大会(特別含)における共通の役割について】 不在の場合「→」の順で担当
- ・申し込み先、集約、組み合わせ責任者・・・事務局長(Web申し込み)(個人はFAX)
 - ・会場準備(前日準備含)・・・各地区強化対策委員・各地区顧問等
 - ・当日監督会議・開会式挨拶・・・専門委員長→強化対策委員長→副委員長
 - ・当日監督会議・開会式試合について・・・強化対策委員長
 - ・当日諸連絡・・・各地区強化対策委員(会場・運営に詳しい地区顧問でも可)
 - ・当日閉会式表彰・・・(専門委員長)→副委員長→各地区強化対策委員(代表者)

- 来年度の交流大会の日程、参加規定案は別紙参照。参加チーム数は会場によって変動しながら実施予定。
- 社会体育等クラブチームの参加も柔軟に対応する。
- 団体申し込みはWebでの申し込みとし、個人参加(強化候補・指定選手)の申し込みはFAXにておこなう。その他日程等、交流大会詳細は別紙参照

埼玉県中学生春季特別剣道交流大会運営について

場所：行田グリーンアリーナ

令和7年 **5月2日（金）3日（土）4日（日）** 2日開催

（2日：前日準備 3・4日：順位付け錬成会形式）

・県外校を招待しての特別交流大会として実施。

○同時期に各種大会の開催も見込まれるため、1月上旬より県外校へは要項の配布開始。

1次案内として2月末で参加校の一部確定をおこなっていく。申込時のトラブルを防ぐために、変更・修正含めすべて **mail** 対応として記録に残しておく。

○県内選抜校・役員校・県外校（2次案内）は3月上旬に配布予定

○社会体育等クラブチームの参加に関しても柔軟に対応する。

学校総合体育大会 県大会

場所：所沢市民体育館

日時：令和7年7月31日（木）：男女団体戦 8月1日（金）：男女個人戦

・個人戦組み合わせ担当 代表者会議にて

→強化対策委員長・専門委員長・副委員長での組合わせの確認を徹底。

・強化候補選手の選定 個人戦終了後

・入館、整列関係の役割担当

・都道府県代表選手保護者説明（強化対策委員長） 個人戦終了後 ※要検討事項※

中高強化錬成会（関東・全国出場校強化事業）

※**関東大会の日程が直前になるため今年度は形式を変更して実施予定。**

変更案

「中高交流錬成会」

場所：埼玉県立武道館 主道場・第二道場

日時：令和7年8月6日（水）

・例年開催している中高強化錬成会を変更し、強化対策委員会運営による錬成会を企画

・関東・全国に出場しない強化対策委員会で運営する

・新チーム対象の錬成会とし、参加できる高校を含めて実施する方向

ジュニア強化合宿

場所：埼玉県立武道館 県立スポーツ総合センター

日時：令和7年 8月13日（水）14日（木）

・学校総合体育大会（県大会）から合宿参加選手を選出する。

※合宿参加選手を本年度「強化候補選手」とする。

強化候補選手にふさわしい選手を選考していくため以下の観点で選考する。

- ・県大会出場者であり、競技力の高い選手であること。（順位だけではない）
- ・剣道はもちろん、学校生活においても強化指定選手にふさわしい生活態度であること。
- ・向上心をもち、意欲的に稽古に参加する者。

合宿場所：県立武道館 **第二道場（2日間）** 宿泊：県立スポーツ総合センター

合宿宿泊人数：指導者（教職員）：10名程度（宿泊・日帰）※宿泊指導者6名

選手 最大30名（男子15名 女子15名）

※選手や、実態に合わせて選出人数は変更※

第 20 回全日本都道府県対抗剣道大会

場所：大阪府おおきにアリーナ舞洲

日時：令和 7 年 9 月 14 日（日）

- ・強化指定選手を対象にした選考会及び、学総県大会個人戦上位選手で編成。
- ・補員として男女各 1 名追加で選出
※辞退者がいた場合は、その都度協議する。※
- ・強化（強化稽古・錬成会・移動費・宿泊費など）に関わる一切の費用は埼剣連からの強化費でまかなう。※強化対策委員長が剣道連盟と調整※
- ・監督・コーチ（男女各 1 + α） 強化対策委員を中心に選出する。

令和 2 年度 監督：上野哲平（吉川南）・・・中止

令和 3 年度 監督：上野哲平（吉川南）・・・中止

令和 4 年度 監督：上野哲平（吉川南） コーチ：荒井馨梨（新座四）

令和 5 年度 監督：荒井馨梨（新座二） コーチ：千島京香（本庄東）

令和 6 年度 監督：七条剣（朝霞三） コーチ：荒井馨梨（新座二）

令和 7 年度 監督：松田昴也（大沼） コーチ：千島京香（熊谷別府）

※現段階での選出の為、変更の可能性有※

○令和 7 年度の開催は 9 月 14 日（日）実施。

○令和 7 年度の選手選考については強化指定選手を対象に選考会等を実施予定。学総県大会個人戦までを総合的にみて選手を選考する。（学総個人戦のみでは決定しない。）

埼玉県中学生秋季特別剣道交流大会運営について

場所：大宮武道館

日時：令和 7 年 10 月 18 日（土）1 日開催

- ・役員校・強化指定選手には 8 月上旬配布予定
- ・参加形態（学校・クラブ・道場等）については柔軟に対応していく。

※県外校には 8 月上旬に要項配布予定（1 次案内）※

※県内選抜校・役員校・県外校（2 次案内）は 9 月上旬に配布予定

学校新人体育大会・県民総合スポーツ大会

日時：場所 埼玉県立武道館

団体戦 11 月 12 日（水）：男女団体戦

個人戦 11 月 13 日（木）：男女個人戦

- ・個人戦組み合わせ担当 代表者会議にて
→強化対策委員長・専門委員長・副委員長での組み合わせの確認を徹底。
- ・強化指定選手の選定 個人戦終了後
- ・入館、整列関係の役割担当
- ・強化指定選手への認定書の作成（強化対策委員長）※剣道連盟との連名※
中高強化練習会にて配布予定

埼玉県中学生冬季特別剣道交流大会運営について

場所：埼玉県立武道館 1日開催

日時：令和7年 12月28日（日）

- ・錬成会形式で実施予定。 1日開催
- ・参加規定は、埼玉県内は新人県大会男女団体各ベスト4以上の学校とする。（男子・女子で別に要項を配布する。）配布窓口は事務局長のみとする。
- ・参加形態（学校・クラブ・道場等）については柔軟に対応していく。

※県外校には9月上旬に要項配布予定（1次案内）※

※県内選抜校・役員校・県外校（2次案内）は11月上旬に配布予定

埼玉県強化訓練（埼玉県剣道連盟主催行事）

場所：埼玉県立武道館

日時：令和8年1月31日（土）午前中 開催予定

- ・令和7～8年度強化指定選手が参加対象。

中高強化練習会

場所：※現在調整中※

令和8年 月 日（ ） 1日開催予定 **※日程の変更の可能性あり※**

- ・会場：埼玉県立久喜工業高等学校
- ・参加資格：男女それぞれ 10名を選抜（強化指定選手）＋若干名
- ・運営：強化対策委員（若干名） **個別に強化対策委員長から参加依頼書を送付**

高体連強化部長との連絡をとって決定。

高体連としては、栃木県高体連との交歓大会を同時期に実施。例年、日程が中高強化と重なっている。来年度以降も高体連と連絡をとって決定していく。

強化指定（候補）選手の選定について

【強化指定選手選出の流れ】

①「強化候補選手」を中心に新人県大会にて選出

- ・（男女各10名）中高強化練習会参加対象選手とする。

令和8年度実施の全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会選手候補として強化訓練参加対象選手とする。

②新年度に、新1年生を対象に「強化候補選手」として数名選出する。（全員ではない）

（小学校時都道府県埼玉県代表として出場している選手が対象）**※県外から入学は対象外※**

③学総県大会終了後、「強化指定選手」の指定は解除。（R7年度8月末日まで）

④学総県大会の結果と②の「強化候補選手（新1年生対象）」から1・2年生を対象にジュニア合宿参加選手を選出。

⑤ジュニア合宿参加選手を「強化候補選手」とする。

※ジュニア合宿に参加（中止の場合は参加申し込み）をした選手とする。 ※①に戻る。

令和7～8年度にかけての強化指定選手には中体連剣道専門部・埼玉県剣道連盟の連名での認定書を配布。

その他

- ① 強化対策委員会の組織改正について（強化対策委員長の変更・異動等）
- ② 強化指定選手対象の強化訓練・都道府県大会出場選手選考について

①【強化対策委員会の組織改正について】

令和7年度より、強化対策委員会を以下のように改正する。

強化対策委員長 松田昂也（春日部市立大沼中学校）

強化対策委員：必要人数

強化対策委員について

- 現在の強化対策委員は令和6年度までを任期として、令和7年度からは改めて人選をおこなう。
- 強化対策委員の再任は妨げない。ただし、今後の活動を考えて人選をおこなう。
- 各地区2～3名の選出。強化対策委員長で選出をおこなう。

★強化対策委員の主な役割★

- ・強化対策委員は他の所属部と兼任して役割を担う。
- ・交流大会の運営・補助・役員としての参加（所属地区開催の場合は、前日準備）
（交流大会申し込み担当として各地区から1～2名選出 ※Webに変更済）
- ・特別交流大会会の運営・補助・役員としての参加（選抜校であっても関係なし・若干名）
- ・中高強化事業（8月）の運営・役員としての参加（関東・全国出場校は免除）
- ・ジュニア強化合宿（8月）の指導者・運営補助（宿泊・日帰り）
- ・都道府県対抗剣道大会 引率指導者・指導補助（※選抜※）
- ・学総（7月）新人（10月）県大会代表者会議における個人戦組み合わせ作成
- ・学総（7月）新人（11月）県大会の入館・誘導担当
- ・学総（7月）新人（11月）県大会時に強化候補（指定）選手選出をおこなう。
- ・中高強化事業（2月）の指導者・運営補助（※選抜※）
- ・都道府県選手選考会運営・審判（3月・4月）
- ・その他、県の強化事業に関わる仕事（その都度指示）

令和7年度 強化対策委員名簿

○印は 各地区代表者 は新規 ※新年度の異動等で変更箇所あり※

地 区	名 前	学校名	学校電話番号	学校FAX
委員長	松田 昂也	大 沼	048-736-9986	048-734-9420
東部地区 3	○平井 武蔵	吉川中央	048-982-0241	048-982-0236
	埜口 志穂	鷲 宮	0480-58-1004	0480-58-4106
	土田 翔平	越谷北	048-975-1009	048-975-1487
西武地区 3	○猿橋 陽介	坂戸若宮	049-281-2014	049-284-6654
	山崎 夏樹	霞ヶ関西	049-231-0188	049-239-1100
	貝塚 脩悟	城北埼玉	049-235-3222	049-235-7020
南部地区 2	○中川 勇作	川口南	048-222-3540	048-222-1831
	荒井 馨梨	新座二	048-477-1212	048-482-0132
北部地区 3	○黒澤 大輔	幡 羅	048-571-0229	048-571-0328
	金室 あかね	熊谷三尻	048-532-3657	048-533-2064
	千島 京香	熊谷別府	048-532-6004	048-533-2308
さいたま市 4	○中川 雄斗	原 山	048-882-3192	048-811-1338
	内田 峻介	三 室	048-874-2331	048-810-1125
	大橋 基	美園南	048-878-3511	048-878-3512
	茅野 真由	川 通	048-799-1061	048-799-0436

②【強化指定選手対象の強化訓練・都道府県大会出場選手選考について】

令和7年1月吉日

各中学校剣道部顧問・強化指定選手 様

埼玉県中体連剣道専門部
専門委員長 上野 慶一郎
強化対策委員長 七条 剣

令和7年度 全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 中学生の部 選手選考会 兼 強化錬成会 要項

- 1 ねらい 全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 中学生の部における、出場選手の選考を数回にかけておこなう。強化指定選手の競技力向上・埼玉県代表チームの強化としておこなう。
- 2 日程 第1回 令和7年3月2日（日）9：30開始 13：30終了予定
会場：久喜市立鷺宮中学校会場
第2回 令和7年4月20日（日）9：30開始 13：30終了予定
会場：久喜市立鷺宮中学校会場
【全回共通】
8：30～ 開場 アップ 準備の関係上8：00前の会場到着はご遠慮ください。
9：10～ 9：20 開会行事 諸連絡
9：30～13：00 試合 出場選手による総当たり戦
13：00～13：30 閉会行事 解散
- 3 会場 久喜市立鷺宮中学校会場
- 4 参加対象 令和6～7年度 埼玉県剣道連盟・埼玉県中体連剣道専門部強化指定選手 男女各10名
- 5 役員 埼玉県中体連剣道専門部 強化対策委員 18名程度
他 審判依頼を検討
- 6 申し込み 参加・不参加の申し込みを下記QRコードからおこなってください。申し込みをおこなうのは強化指定選手所属校顧問（外部指導員）等の部活動責任者がおこなってください。
引率は保護者等で可とします。

第1回選考会



2月14日（金）
申し込み〆切

第2回選考会



3月21日（金）
申し込み〆切

- 7 その他
 - ・上記2回と学校総合体育大会埼玉県大会 個人戦の結果をもとに代表選手選考をおこなう。
 - ・各自での感染症対策にご協力をお願いします。発熱・体調不良等ある場合は参加を見送ってください。
 - ・各自でお弁当持参の上でご参加ください。
 - ・本強化錬成会に関わる費用は全て各個人の負担となりますのでご了承ください。
 - ・本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

主催事務局 埼玉県中体連剣道専門部強化対策委員会 事務局長
春日部市立大沼中学校剣道部顧問 松田 昂也

令和7年度強化対策委員名簿

○印は 各地区代表者 は新規 ※新年度の異動等に変更箇所あり※

地 区	名 前	学校名	学校電話番号	学校FAX
委員長	松田 昂也	大 沼	048-736-9986	048-734-9420
東部地区 3	○平井 武蔵	吉川中央	048-982-0241	048-982-0236
	埜口 志穂	鷲 宮	0480-58-1004	0480-58-4106
	土田 翔平	越谷北	048-975-1009	048-975-1487
西武地区 3	○猿橋 陽介	坂戸若宮	049-281-2014	049-284-6654
	山崎 夏樹	霞ヶ関西	049-231-0188	049-239-1100
	貝塚 脩悟	城北埼玉	049-235-3222	049-235-7020
南部地区 2	○中川 勇作	川口南	048-222-3540	048-222-1831
	荒井 馨梨	新座二	048-477-1212	048-482-0132
北部地区 3	○黒澤 大輔	幡 羅	048-571-0229	048-571-0328
	金室 あかね	熊谷三尻	048-532-3657	048-533-2064
	千島 京香	熊谷別府	048-532-6004	048-533-2308
さいたま市 4	○中川 雄斗	原 山	048-882-3192	048-811-1338
	内田 峻介	三 室	048-874-2331	048-810-1125
	大橋 基	美園南	048-878-3511	048-878-3512
	茅野 真由	川 通	048-799-1061	048-799-0436

令和7年度 埼玉県中学生剣道交流大会 実施要項

- 1 目的 剣道を愛好する中学生に広く剣道の練習、試合の機会を与え体力・技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な生徒を育成し生涯スポーツの基礎作りに寄与する。
- 2 主催 埼玉県中学校体育連盟 埼玉県中学校体育連盟剣道専門部
- 3 参加校 ○特別剣道交流大会・通常交流大会ともに参加規定を設けて実施をします。参加規定は以下の通りです。
 - ・学校総合体育大会及び新人戦埼玉県大会ベスト4以上の学校(地区強化対策委員推薦 優先対象)
 - ・埼玉県内強化対策委員の推薦があった学校(参加定数は各回による)
 - ・県専門委員長校・副委員長校・強化対策委員校・専門部各部長校(運営補助)

【令和7年度埼玉県中学生剣道交流大会 参加規定】を必ず確認の上、申し込みをお願いいたします。

お問い合わせについては、**各回担当者(強化対策委員)**へご連絡ください。ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。申し込み完了後の問い合わせについては以下のアドレスまでご連絡をお願いします。

強化対策委員事務局長担当 mailアドレス saltama.jhs.kendo.rensel@gmail.com

- 4 期日・申し込み先 ※申し込みはすべてWebでの申し込みとなります。※

○埼玉県中体連剣道専門ホームページ <http://sck-kendo.com>より「埼玉県中学生剣道交流大会申し込みフォーム」にアクセスし、申し込みをおこなってください。

○県外校の受付はフリーとしますが、会場の収容人数の関係で上限数に達した場合は入力フォームを閉じさせていただきますのでご了承ください。(参加定数は各回による)

各回の申し込み受付開始日は、下記の表を参考にしてください。尚、事務局の作業の関係で予定日を過ぎる可能性がありますのでご了承ください。

○クラブチームとしての参加を可としますが、中学生のみの参加でお願いいたします。

◆強化候補・指定選手の個人申し込みに関しては、該当選手所属校に別紙でFAXをさせていただいております。(強化候補選手には学校総合体育大会終了後・令和7年度～8年度強化指定選手には新人大大会終了後にFAXいたします。)コピーをして使用してください。再発送等の連絡は、強化対策委員長 春日部市立大沼中学校 松田昂也までご連絡ください。

第1回 (東部)	日 付	令和7年4月19日(土)	問い合わせ先	久喜市立鷺宮中学校	備考 :参加規定あり
	会 場	毎日興業アリーナ久喜	F A X	0480-58-4106	申込開始 3月14日(金)
	所在地	埼玉県久喜市江面1616	担当者	埜口 志穂	申込締切 4月4日(金)
	電話番号	0480-21-3611	学校TEL	0480-58-1044	申し込み締切日を過ぎましたら申し込みフォームを閉じます。
第2回 (さいたま市)	日 付	令和7年6月7日(土)	問い合わせ先	さいたま市立原山中学校	備考 :参加規定あり
	会 場	サイデン化学アリーナ	F A X	048-811-1338	申込開始 5月2日(金)
	所在地	埼玉県さいたま市桜区道場4-3-1	担当者	中川 雄斗	申込締切 5月23日(金)
	電話番号	048-851-5050	学校TEL	048-882-3192	申し込み締切日を過ぎましたら申し込みフォームを閉じます。

※ここから新チームになります※

第3回 (北部)	日 付	令和7年9月23日(火)	問い合わせ先	深谷市立幡羅中学校	備考 :参加規定あり
	会 場	熊谷スポーツ文化公園 くまがやドーム体育館	F A X	048-571-0328	申込開始 8月15日(金)
	所在地	埼玉県熊谷市上川上300	担当者	黒澤 大輔	申込締切 9月5日(金)
	電話番号	048-526-2004	学校TEL	048-571-0229	申し込み締切日を過ぎましたら申し込みフォームを閉じます。
第4回 (南部)	日 付	令和8年1月11日(日)	問い合わせ先	川口市立川口南中学校	備考 :参加規定あり
	会 場	吉川総合体育館	F A X	048-222-1831	申込開始 12月5日(金)
	所在地	吉川市笹塚1-58-1	担当者	中川 勇作	申込締切 12月26日(金)
	電話番号	048-982-6800	学校TEL	048-222-3540	申し込み締切日を過ぎましたら申し込みフォームを閉じます。
第5回 (西部)	日 付	令和7年 2月 28日(土)	問い合わせ先	坂戸市立若宮中学校	備考 :参加規定あり
	会 場	狭山市民総合体育館	F A X	049-284-6654	申込開始 1月 23日(金)
	所在地	狭山市柏原555	担当者	猿橋 陽介	申込締切 2月 13日(金)
	電話番号	0429-52-0511	学校TEL	049-281-2014	申し込み締切日を過ぎましたら申し込みフォームを閉じます。

※準備、運営については、各地区強化対策委員が中心となり、おこないます。

各会場の関係Bチームの参加はお約束出来ません。当日の組み合わせに関しても事前にお伝えすることはできません。(申し込み確認は可)趣旨をご理解の上参加願います。

◆以降の剣道交流大会・大会は参加規定があります。Web申し込みでは無い大会もありますのでご了承ください◆						
特別 埼玉県 中学生 交流 大会 春季	日 付	令和7年 5月3日(土)4日(日)2日開催		強化対策委員会担当:松田 別途要項配布 参加規程: 県外校及び 選抜校(強化対策委員指定) 強化対策委員会が推薦した学校	備考 :参加規定あり 要項は 別途配布いたします。 ※コピー・FAX不可 Web申し込み	
	会 場	行 田 グ リ ー ン ア リ ー ナ				
	所 在 地	行田市大字和田1242				
	電話番号	048-553-3377				
大会	日 付	令和7年7月31日(木)8月1日(金)		中体連申込用紙	備考 代表者会議 7月 8日(火)	
	学校総合体育大会兼全国・関東予選会					
	会 場	所沢市民体育館				
特別 強化 錬成 会	日 付	令和7年 8月 6日(水)		担当者	今年度は形式を変更して実施	
	中高連携全国関東強化錬成会					
	会 場	埼玉県立武道館				
関東	日 付	令和7年8月8日9日(金・土)		会場	東京都 エスフォルタアリーナ八王子	団体男女各6校 個人男女各4名
	大会名	第 5 2 回 関 東 中 学 校 剣 道 大 会				
特別 強化 合宿	日 付	令和7年8月13・14日(水・木)		担当者	強化対策委員会 担当:松田 別途要項配布	県ジュニア強化合宿 学総より1・2年選考 強化候補選手
	埼玉県夏季ジュニア強化合宿					
	会 場	埼玉県立武道館				
全国	日 付	令和7年8月23日~25日(土~月)		会場	宮崎県 早水公園体育センター	団体男女各1校 個人男女各2名
	大会名	第 5 5 回 全 国 中 学 校 剣 道 大 会				
大会	日 付	令和7年9月14日(日) 予定		担当者	別途要項配布	備考 男子4女子3(補員男女各1) 強化指定選手 他
	第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会					
	会 場	大阪府おおきにアリーナ舞州				
特別 埼玉県 中学生 交流 大会 秋季	日 付	令和7年10月18日(土)		強化対策委員会担当:松田 別途要項配布 参加規程: 県外校及び 選抜校(強化対策委員指定) 強化対策委員会が推薦した学校	備考 :参加規定あり 要項は 別途配布いたします。 ※コピー・FAX不可 Web申し込み	
	会 場	大 宮 武 道 館				
	所 在 地	さいたま市見沼区堀崎町12-36				
	電話番号	048-687-1011				
大会	日 付	令和7年11月12・13日(水・木)		中体連申込用紙	備考 代表者会議 10月 14日(火)	
	埼玉県新人体育大会・県民総合スポーツ大会・埼玉県剣道大会(中学の部)					
	会 場	埼玉県立武道館				
特別 埼玉県 中学生 交流 大会 冬季	日 付	令和7年12月28日(日)		強化対策委員会担当:松田 別途要項配布 参加規程: 県外校及び 選抜校(強化対策委員指定) 強化対策委員会が推薦した学校	備考 :参加規定あり 要項は 別途配布いたします。 ※コピー・FAX不可 Web申し込み	
	会 場	埼 玉 県 立 武 道 館				
	所 在 地	上尾市日の出4-1877				
	電話番号	048-777-2400				
特別 強化 合宿	日 付	令和8年 月 日()		担当者	強化対策委員会 担当:松田 別途要項配布	新人戦より1・2年選考 強化指定選手
	中高連携強化練習会					
	会 場	未定				

※申込期限は厳守です。また、**申込み無しでの当日参加は出来ません。**

原則、全交流大会統一(春秋冬 強化は除く)で以下の時程で実施させていただきます。別紙要項・組み合わせ等は原則、後日送信はしません。

開場・受付	9:00
監督会議	9:40
開会行事	9:50

- ・参加協力費は受付で徴収いたします。県内外統一1チーム2500円 男女参加5000円
- ・各チーム紅白の目印・審判旗・ストップウォッチは用意してください。
- ・水分及び靴袋の用意をお願いいたします。
- ・各試合方法については監督会議にてご確認下さい。(原則錬成会形式)
- ・監督、顧問昼食は任意での購入になります。申し込みフォームでご確認ください。
- ・各交流大会の結果はホームページにて公開させていただきます。ご了承ください。

<http://www.sck-kendo.com> 検索:埼玉県 中体連 剣道専門部 googleやyahooにて検索ください。

日程に変更がある場合は、中体連剣道専門部HPにて連絡いたします。参加前にご確認ください。

令和7年度 埼玉県中学生剣道交流大会 参加規定（特別大会は除く）

令和7年 3月 1日現在

	担当地区	開催場所	日時	県内中学校	県外中学校	備 考
第1回	東部	毎日興業アリーナ久喜	4月19日（土）	○ 参加規定有り	○ 上限20校	9：00開場 15：30終了 県外校錬成会 各地区推薦校のみ
第2回	さいたま市	サイデン化学アリーナ	6月7日（土）	○ 参加規定有り	○ 上限20校	9：00開場 15：30終了 県外校錬成会 各地区推薦校のみ
ここから新チーム（1・2年生対象）になります。						
第3回	北部	くまがやドーム体育館	9月23日（火）	○ 参加規定有り	○ 上限25校	9：00開場 15：30終了 県外校錬成会 各地区推薦校のみ
第4回	南部	吉川総合体育館	1月11日（日）	○ 参加規定有り	○ 上限10校	9：00開場 15：30終了 県外校錬成会 各地区推薦校のみ
第5回	西部	狭山市民 総合体育館	2月28日（土）	○ 参加規定有り	○ 上限20校	9：00開場 15：30終了 県外校錬成会 各地区推薦校のみ

- ・参加チームの人数制限はありませんが、**Bチームの試合はお約束できませんのでご了承ください。**
- ・本年度は、埼玉県内参加校は各地区強化対策委員から推薦された学校のみ（各地区5校程度）とする。ただし、会場によって推薦校数の変動あり。また、運営に関わる役員校はこの規定にはあてはまらない。また、強化指定（候補）選手の個人参加も別規定とする。
- ・埼玉県中体連剣道専門部ホームページより期限内に Web にて申し込む。体調不良者の参加はご遠慮ください。
- ・入館者は感染対策を各校・各自の責任のもとおこなう。
- ・会場施設の入館規定を最優先とする。
- ・選手は面マスク、またはシールド類（口鼻を覆う形状のもの）のどちらかを着用を義務とする。（全剣連の規定が変更になった場合は再考する）
- ・大会参加費は1チーム2500円 男女参加で5000円となります。

【開催の中止】

- ・開催予定の会場・市において、施設の開放が停止になるような状況になった場合は開催を中止とする。
- ・埼玉県中体連本部より開催中止の進言が出た場合など中止とする。